

- **特集** 集：大容量のストレージか？高性能なコーデックか？
- **製品特集**：企業の価値を生み出す高度な訪問者管理システム
- **業種別市場**：スタジアムの群集管理に役立つ解析

ネットカムシステムズの録画ソリューション



運用と機能で比較

- 高機能VMS「KxViewPro Ver4」
- クラウド録画サービス「さば録」

耐重塩害

耐風速[※]

※風速60 m/sまで動作可能。

ハイブリッド画揺れ補正



IR LEDユニット装着時のイメージ

流線型フォルム採用で風速60 m/sでも動作可能 風、雨、塩害にも強いフルHD対応PTZネットワークカメラ

i-PRO
SmartHD

エアロPTZカメラ

WV-SUD638 (ナチュラルシルバー)

WV-SUD638-H (グレー)

WV-SUD638-T (ブラウン)

各オープン価格 2016年9月発売予定 受注生産品



機能拡張ユニット(IR LEDユニット)

WV-SUD6FRL1 (ナチュラルシルバー)

WV-SUD6FRL-H (グレー)

WV-SUD6FRL-T (ブラウン)

各オープン価格 2016年9月発売予定 受注生産品



- 厳しい屋外環境への設置を可能にする形状・機構を採用
- 画像の揺れを補正するハイブリッドイメージスタビライザー搭載



細かな周期の揺れ



ゆっくり大きな揺れ



補正

※写真は機能説明のためのイメージです。

- ISO14993[※] 準拠の耐重塩害仕様

※ISO14993：塩水噴霧、乾燥、湿潤を繰り返すことで耐食性を評価する試験規格。

エアロPTZカメラ

※ご注意：雷の直撃・誘導や設置間電位差などの影響を避けるとともに、雷からの設備保護の対策が別途必要です。

セキュリティ商品・システム情報をパナソニックのホームページでご覧いただけます。

監視・防犯システム

検索

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/it/cs/cntctus/>
i-PRO SmartHDスマートフォン用サイトは右記QRコードからアクセスできます

パナソニック システムネットワークス株式会社 セキュリティシステム事業部
〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島4丁目1番62号



0120-878-410

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます(お問合せの内容によっては、担当窓口をご案内する場合がございます)。



安心の
3年保証



あらゆる用途にお答えできる豊富なラインナップ
ダーファ

世界トップクラスの Dahua 製品をお届けします。
ダーファ

三星ダイヤモンド工業株式会社は Dahua 製品の日本正規代理店です。

* 日本経済新聞 2015年7月掲載世界シェア 15.3%

■ セキュリティカメラなど豊富な映像監視機器を国内向けに販売

Dahua 社は、映像監視機器で世界トップクラスのシェアを持つソリューションメーカーとして知られています。エントリークラスからハイエンドクラスにいたるまで、幅広いニーズと用途に応じたラインナップを誇る Dahua の全製品を取り扱っています。

また、新たにアフターサービス拠点を設け、一層のテクニカルサービス拡充に取り組んでいます。

※ 販売パートナーの募集も随時行っております。お気軽にお問合せください。

CE FC CCC UL ISO 9001:2000



DAHUA TECHNOLOGY CO., LTD.

No.1199 Bin'an Road, Binjiang District, Hangzhou, China. 310053
Tel: +86-571-87688883 Fax: +86-571-87688815
Email: overseas@dahuatech.com
www.dahuasecurity.com

DAHUA社日本正規代理店
三星ダイヤモンド工業株式会社

本社西日本営業所
〒566-0034大阪府堺市香露園32-12
Tel: 072-648-7526 Fax: 072-648-7582
東日本営業所
〒222-0033神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-4
Tel: 045-548-4731 Fax: 045-548-4732
URL: <http://www.mitsuboshidiamond.com>

MDI
Imaging Technology

目次

a&SJAPAN Sep/Oct. 2016
2016年9 - 10月号 No.54



表紙解説

KxViewPro & さば録 6-7

特集

大容量のストレージか?高性能なコーデックか? 16

製品特集

企業の価値を生み出す高度な訪問者管理システム 20

業種別市場

スタジアムの群集管理に役立つ解析 26

連載

市場慧眼 よくわかるIPネットワーク 34

SMAHome ドイツに見る新製品の傾向 30

イベント情報

直前情報 GDSF JAPAN 2016 37-39

展示会、プライベートショー日程 40

新製品情報

アクシスコミュニケーションズ 43

ボッシュセキュリティシステムズ 46

ジェネテック 46

HIDグローバル 44

モフィリア 45

オプテックス 47

TOA 47

ユニバーサルコンピュータ研究所 45

VIVOTEK 42

産業ニュース 8、10、12、13

技術ニュース 14、15

読者の声 48



SKYHAWK
SURVEILLANCE

スマート。安全。セキュア。

SKYHAWK

監視専用ストレージ

年間作業負荷上限180TB、RVセンサー搭載 (4TB以上)
64台カメラ対応



10TBデビュー

オリジナルグッズ等が当たる
リブランド記念キャンペーン

開催中!

製品概要や
新ブランド
キャラクターも
CHECK!



広告主名 (ABC順)	掲載ページ
DAHUA TECHNOLOGY CO. LTD.,	1
DYNACOLOR JAPAN	11
ジャバテル	35
ITE Tech. Inc.,	9
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	25、29、41
ネットカムシステムズ	表一、6-7
日本シーゲイト	3
パナソニックシステムネットワークス	表二
店舗プランニング	表四
VIVOTEK	5

次号案内 2016年 11/12月号 (11月11日発行予定)

特集

Security 50 2015年度の企業実績

製品特集

映像監視の無線通信

業種別市場

軌道交通機関の駅

IoT

工場の情報化

連載

市場慧眼

(誌面の都合上、変更になることがあります)

a&sJAPAN ©ASJ社 2016年 9-10月号 No.54
The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 八洲 DTP サンフィール

a&sJAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&sAsiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ合同会社

Advanced Security Journal LLC

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041

電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは
E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは
E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは
E-mail：info@asj-corp.jp

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス
当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開していません。



VASTカウント分析



SC8131

顧客の数、動きが見える！

3D人数カウントソリューションが店舗
オペレーションを変える！

- ・ 3D深度テクノロジーで98%の高精度
- ・ VAT CMSへのシームレスな統合
- ・ スタッフ運用を効率化
- ・ マーケティング有効性を強化



Booth No. B401



InnoTrans2016
Berlin Germany, 20 - 23 Sept

Booth No. Hall 4-1 No.105



security essen 2016
Essen, Germany, 27 - 30 Sept 2016

Booth No. 2D48



紹介ビデオ

VIVOTEK INC.

6F, No.192, Lien-Cheng Rd., Chung-Ho, New Taipei City, 235, Taiwan, R.O.C. | T: +886-2-82455277 | F: +886-2-82455532 | E: sales@vivotek.com | www.vivotek.com

ネットカムシステムズの 録画ソリューション徹底比較

「KxViewPro Ver4」は常時監視している場所や、録画データを自己管理しておきたいユーザーにお勧めです。また、大型案件用にカスタマイズも受けておりますので、機能が充実していることが特徴で、細かい設定が可能となっております。(お客様の運用に合わせて設定のご相談も行っております)

高機能 VMS 「KxViewPro Ver4」

ネットワークカメラの映像を同時録画(最大64台)・再生するソフトウェアです。マルチベンダー対応で用途に応じてカメラ選択が可能です。録画フォーマットもMJPEG、H.264の混在が可能です、各社250機種以上のカメラがご利用頂けます。

■ラインナップ

KxViewPro4 : 4台録画、24台ライブ
 KxViewPro9 : 9台録画、24台ライブ
 KxViewPro16 : 16台録画、160台ライブ
 KxViewPro32 : 32台録画、999台ライブ
 KxViewPro64 : 64台録画、999台ライブ

■操作方法

分かりやすいインターフェースでカメラのPTZや録画再生などが簡単に操作できます。録画データは弊社独自のフォーマット(専用プレーヤ付)もしくはAVIファイルとして書き出しが可能です。



■分割画面

多彩な分割画面とシーケンシャル機能を有しており、分割画面を2画面まで表示できるため、運用に即したライブ表示が可能です。



■充実機能

MAP機能

・カメラクリックでライブ・録画の呼び出しが可能



連携機能

・モーション検知、DIOとの連携機能を標準装備
 ・クライアントから複数サーバーの録画データを再生

魚眼展開機能

・全方位カメラの録画映像を、ソフトウェアの機能で、任意平面、4分割、パノラマに展開可能



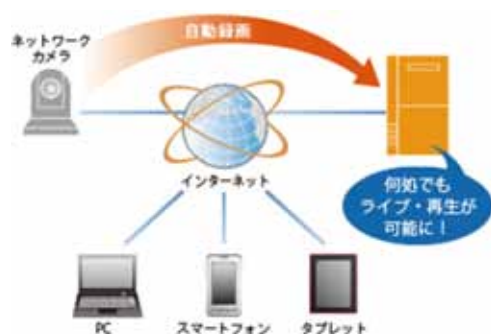
■ソフトウェア価格

オープンプライスのためお問い合わせください。追加ライセンス費用などはありませんので、ランニング費用の削減が可能です。

「さば録」は店舗オーナーが外出先から各店舗の状況を確認するときなど、複数拠点を管理する場合などに有効です。KxViewPro に比べ機能は限定していますが操作方法は簡単です。インターフェースを一新しさらに使い安くなりました。月額サービスとして提供しており、価格が安いのも特徴です。

クラウド録画サービス 「さば録」

ネットワークカメラの映像を当社管理のサーバーに録画し、遠隔からインターネットブラウザを利用して閲覧・再生するクラウドサービスです。設定は全て当社で行いますので、録画に際した面倒な設定は不要です。カメラはAXIS、Canon、Panasonic、JVC製がご利用頂けます。



■カメラ録画台数 (H.264録画のみ対応)

カメラ1台～100台、音声録画にも対応しております。

※18台ごとにアカウント費用が発生します。

■操作方法

さば録は誰でもご利用いただけるよう「再生」「ライブ」のシンプル設計となっております。直感的なインターフェースでライブ画面ではカメラのパン・チルト・ズーム・プリセットコントロールが可能です。



■分割画面

単画面、4分割、9分割、16分割での表示が可能です。分割画面の登録は複数登録が可能です。



■動作環境 (対象ブラウザ)

Windows : IE9/10/11、Chrome、Firefox

Macintosh : Safari

iPhone/iPad : Safari

Android : Chrome

■新機能：連携機能

カメラのモーション検知機能(http通知)を利用し録画のタイムラインに表示が可能です。

再生時にはモーション検知の部分だけ再生することも可能です。

■費用

初期費用 ¥33,000-から (1アカウント18台まで)

月額費用 ¥1,000-から

●対応カメラ・環境、ラインナップ、お問い合わせは…

※販売代理店を随時募集しております。



株式会社ネットカムシステムズ

URL: <http://www.netcam.co.jp/>
E-mail: netcam@netcam.co.jp

■本社・秋葉原ショールーム

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル6F
Tel:03-5207-8591

■大阪支店

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-18 新大阪サンアールセンタービル16F
Tel:06-4866-6431



NECのウォークスルー顔認証システム、リオ2016「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」で導入

リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会期間中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下 東京2020)と東京・日本をPRする拠点として開設される「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」に、カメラの前で立ち止まることなく歩きながら顔認証を可能とするNECのウォークスルー顔認証システムが導入された。

ウォークスルー顔認証システムは、Tokyo 2020 JAPAN HOUSE内の記者会見場に設置され、日本代表選手団のメダリスト会見に参加するメディア関係者の入場管理に利用された。確実に本人確認に加えてスムーズな入場管理を実現することで、

Tokyo 2020 JAPAN HOUSEの円滑な運営に貢献した。

ウォークスルー顔認証システムは、世界最高水準の認証精度を有するNECの顔認証エンジン「NeoFace」を活用し、事前に撮影・登録したメディア関係者の顔画像と、ゲートに設置したカメラで撮影した顔画像を照合して本人確認を行う。ゲートへ近付く間に顔を撮影して、IDカード(プレスパス)を読み取り機に着券後、即座に顔認証を行う。そのため、カメラの前で正対して立ち止まる必要がなく、歩きながらスムーズな認証が可能。ウォークスルー顔認証システムを活用することで、IDカードの貸し借りや盗難によるなりすまし入場、IDカード偽装による不正入場の防止を実現した。

NXPのSmartMX2、ヨルダン初の電子IDカードに採用

NXPセミコンダクターズN.V.は、ヨルダンのシビル・ステータス/パスポート局(CSPD)が新しい非接触型国民IDカード向けにNXPのセキュアなSmartMX2マイクロコントローラの採用を決定したと発表した。ヨルダン情報通信技術省(MoICT)は、ヨルダンの新しいSmartMX2ベースのIDカードの導入が、国家安全保障の強化、偽造防止機能の向上、公共サービスの拡充に貢献すると期待している。デジタル・セキュリティの世界的なリーダー企業で、同プロジェクトのプライム・コントラクターであるジェマルト社との協力により、NXPはマイクロコントローラにジェマルト社のSealys MultiApp IDオペレーション・システムを組み込んでいる。

新しいヨルダンの国民IDカードは多機能な身分証明(ID)カードとして、従来の身分証明書として使用できるほか、旅行スケジュールの保存、eバンキング・サービスへのアクセス、セキュアな投票、保険検証などの広範で新しい社会および経済的組み込みアプリケーションを実現する。カード保有者の写真や指紋などの個人データと生体認証情報は、SmartMX2チップにデジタル形式でセキュアに保存する。さらに新カードは、更新手続きでの混雑軽減と所要時間短縮を可能にするだけでなく、詐欺や偽造を減らすとともに、セキュリティや政府サービスの強化を実現する。

アクシス、アクシスソリューションセンターをリニューアル

アクシスコミュニケーションズは、新宿オフィス内にあるネットワーク・ビデオ・ソリューション展示をリニューアルした。これまでのアクシス・ソリューション・センターとしての展示スペースは、「アクシス エクスペリエンスセンター」として、全く新しいコンセプトでリニューアルした。

「アクシス エクスペリエンスセンター」は、スウェーデン本社、中国上海、香港、そして東京オフィスにて共通のコンセプトを採用し、国ごとに特色のある展示が組まれている。より個別の産業セグメントに特化した展示を中心に、よりわかりやすい製品デモンストレーションを提供する場となった。



cchdtv.org

ccHDTV

enables

真実なデジタル(Ture 4K)映像を進化 古くでも既存ケーブルの交換は不要

DTVカメラはccHDTV技術を基にして、高画質な監視映像を提供する監視製品です。古くでも既存なケーブルはそのまま利用可能です。CCTVからHDへの答えはccHDTVである。

DTV監視製品の特長

- ・ケーブル一本で複数チャンネル；ケーブル一本で複数のUHD映像を同時に伝送する。
- ・デジタルHD映像；最先端COFDM技術でデジタル映像を伝送し、インテリジェント対応可能。
- ・長距離伝送；ノイズおよび干渉に強い、距離が1キロになってもリピーターは不要です。
- ・多様な施工対応；既存の同軸ケーブルをそのまま利用可能のため、同軸ケーブルの交換は不要です。または直列接続および星形接続などの配線も可能です。
- ・統合簡単；ネットワーク（IP）または電源供給システム(POC)と一緒に使えます。

グローバルメーカー：

(詳しくはwww.cchdtv.org/en/adoapter)



ITE 聯陽半導體
ITE Tech. Inc.

ITE Tech. Inc. Taipei Branch
7F, No. 233-1, Baociao Rd., Xindian Dist.
New Taipei City, 23145, Taiwan
T/+886-2-29126889 x2654
F/+886-2-29102551
itesupport@ite.com.tw
<http://www.ite.com.tw>

ボッシュとイグアス、販売代理店契約を締結

ボッシュセキュリティシステムズは、全国の600社にのぼるITソリューションプロバイダーにIT関連ソリューションを販売しているイグアスと販売代理店契約を締結したことを発表した。ボッシュの高度なIPカメラとイグアスのソリューション&インテグレーションサービス、中でもイグアスが販売強化しているAPIが公開され他システムとの連携が可能なクラウド型監視カメラソリューション(Eagle Eye Security Camera VMS)を組み合わせることで、監視用途に留まらず、高度化するセキュリティニーズに合わせたIoTシステムを提供することが可能になった。

フィジカルセキュリティ需要の高まりを受け、監視カメラの需要は2年後に約1.7倍の4300万台に達するとの予測が発表される中、先進国では監視対象の多拠点化や他システムと統合化

など、従来の監視需要に加えてより高度なセキュリティニーズが求められている。また店舗及び商業施設での需要が急増していることで、画像解析技術を活用したマーケティングニーズの高まりが予想されている。

今回の提携により、IBM製品に加え様々なISV製品に関する豊富な知識・ノウハウを有するイグアスは、今後大きな成長が予測されるクラウド監視カメラサービス Eagle Eyeを中心に、高度な解析機能を提供するボッシュ・カメラ・ソリューションとコグニティブ・コンピューティングを組み合わせることで、不審者検知や、災害早期検知などの新しいソリューションを提案していくことが可能になる。

■Boschカメラとイグアス社パートナー様取扱いソリューションの参考例

株式会社シーネット
ci.Himalayas / 検品動画

http://www.iguazu-eagleeye.jp/consortium/consortium01/c_net/



作業状況撮影

商品梱包・検品時の出庫実績はこれまで従来の目視確認またはバーコード確認で行うことが多く、ミスやトラブル時の確認に手間取ってしまうケースがありました。Himalayas/検品動画は、検品作業の様子を音声や作業動画で撮影し、撮影した映像は簡単に検索することが可能です。問合せ対応に要する時間を大幅に短縮し、作業時ミスの抑制を促進可能です。

株式会社インフォファーム
いろあと

http://www.iguazu-eagleeye.jp/consortium/consortium02/info_arm/



コード解析

カメラによって撮影されたカメレオンコード※を解析することで、様々なアラート管理が可能になります。例えば作業員の方々の衣服につけたコードを読み取り、入退室を管理したり、所在管理が専用カードやタグを用いることなく可能になります。カメラの設置場所の数量や利用状況に応じてオンプレミスまたはクラウド利用を選択可能です。

※「カメレオンコード」とは、シアン・マゼンダ・イエロー・ブラックを基本色、グリーン・レッド・ブルー・オレンジを追加色とした、高速・高精度の複数色が可能な次世代のカラーバーコードです。

STSAI-SCW | July 2016
© 2016 Bosch Security Systems. All rights reserved. Also regarding any digital, exhibition, reproduction, editing, distribution, as well as in the event of applications for industrial property rights.



ソニーモバイルコミュニケーションズ、東京電力エナジーパートナーとIoTで提携

ソニー子会社のソニーモバイルコミュニケーションズと東京電力ホールディングス子会社の東京電力エナジーパートナーは、あらゆるモノをインターネットにつなぐIoTを使った家庭向けサービスの開始に向けて業務提携する。

ネットを通じて家電の利用状況を把握し、高齢者の生活を守るサービスや、外出先から空調などをコントロールして生活

を快適にするといったサービスが想定されている。今後、詳細を詰め、来年にも開始する。

ソニーモバイルが家電の使用状況を把握・制御できる機器やシステムの開発を担い、東電エナジーパートナーは首都圏約2000万件の顧客基盤を活用して利用者の獲得を目指す。



簡単なインストール

どんな場所にもフィット出来るコンパクトな
ビデオ監視



3軸調整



簡単設置



IR LED



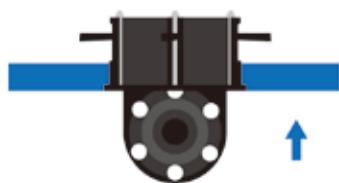
コンパクトサイズ



HDRサポート

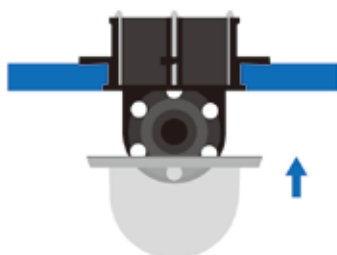
①

天井に適切な穴を開けます。
カメラを設置します。



②

ネジを閉めます。
レンズ位置を調整し、ドームカバーを付けます。



③

設置完了です。



モフィリア、01 Systems社と中東地域でのATM事業を立ち上げ

モフィリアは、バーレーンに本社を置く 01 Systems WLL社と共同で、ATM (現金自動預払機)向けの指静脈認証システムを開発し、中東地域で展開する。このシステムが組み込まれたATMを利用することで、顧客はキャッシュカードやパスワードなしで現金を引き出すことが可能になる。

カタール最大手民間銀行のCommercial Bank(Commercial Bank of Qatar)が本システムの導入を決定し、2016年10月から同行のATMへの導入を開始する。Commercial Bankは、カタールおよび中東地域で静脈認証技術を展開する最初の銀行となる。本技術導入により、顧客はATMに組み込まれた静脈認証装置で安全に自分の口座にアクセスすることができるようになる。また、将来的には法人顧客やVIP顧客がATMからだけでなく、事務所や自宅から、静脈認証装置を使って自身の口座にアクセスできるように拡張される計画。

指静脈認証技術は指紋認証とは異なり、指内部の静脈パターンを利用して、文字通り「生体」の指にのみアクセスするので、毎回の認証時に顧客本人の存在を必要とする。静脈パターンの再現や偽造は不可能で、指静脈を読み取る際、静脈認証機器とコンピュータとの間の通信は、双方向の認証キーを使って暗号化されるため、セキュリティ性が高く、不正を排除することを可能にしている。また、極めて高精度で、顧客本人が認証に

失敗する割合が生体認証技術の中でも最も低いため、高い信頼性と安全性を兼ね備えたソリューションとなる。

■株式会社モフィリア

2010年12月に、独自開発した指静脈認証技術とともに、ソニーから独立。「小型軽量、高速認証、快適操作」をスローガンに、もっとも精度の高い生体認証として評価されている静脈認証の技術を提供し、より使いやすく、どこでも利用できる世界の実現を目指している。

<http://www.mofiria.com>

■01 Systems

同社は、企業の署名管理、コンテンツ管理、ビジネスプロセスの自動化、銀行支店のIT化などの分野で、30年以上の実績を誇るソフトウェア・ソリューション・プロバイダ。金融分野に注力し、世界中の300を超える顧客による数百万にも及び日々の商取引を効率的に処理するのを支援している。

■Commercial Bank

同銀行はカタール全国に31の支店と174台のATMを展開し、2016年6月30日時点で、1270億カタールリヤルの総資産を有する。あらゆるサービスを提供する商業銀行として、法人、小売り、投資の包括的な銀行取引サービスに加え、カタールとオマーンに独占的なDiners Clubフランチャイズを保有し、運営している。

JICA、エアロセンスのドローンによる物流サービス普及促進事業を採択

エアロセンスは、JICA(独立行政法人国際協力機構)の2015年度第2回「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」に企画提案し、ザンビア共和国における保健医療分野の新たな物流インフラとして、エアロセンスの小型無人航空機(ドローン)を用いた物流サービス普及促進事業が採択された。本事業は、JICAとの契約締結後、2016年10月頃より開始する。

ザンビア国内の道路は未整備もしくは維持管理不足が地方部で著しく、それに起因する物資供給網への制約が深刻な課題となっている。特に農村地域では、医療関連物資(消耗品、試薬、迅速診断キット等)の供給や医療施設での検査に用いる検体の輸送が滞り、必要な検査や処置が適時にできず、結果の受領にも長時間を要する等、住民への基礎的保健医療サービスの提供に支障をきたしている状況。

そこでJICAの本事業の下、エアロセンスは莫大な建設費と維持費を要する道路インフラに依らない代替手段を提案し、ザンビアにおける保健医療分野の新たな物流インフラの構築に向け、下記の体制で、現地視察、デモ航行、関係省庁との協議等を実施する。

本事業での各社の担当は下記の通り。

- エアロセンス・自社製の自律型無人航空機システム(特にVTOL:垂直離着陸型の固定翼機)の活用
- 国立研究開発法人国立国際医療研究センター(NCGM)・現地での医療サービスの検討およびザンビア関係省庁との調整
- 八千代エンジニヤング・現地でのドローン運用のための電力・通信インフラの技術的検討及び本事業実施に係るコンサルティング

リコー・アジア・パシフィック社と台湾ACTI社、戦略的パートナーシップを締結

今回の提携で、リコー・アジア・パシフィック社は同社の既存顧客と見込先に対して、同社の映像監視とビジネス情報化ソリューションとACTI製品による完全なポートフォリオを提供する。

また今回のパートナーシップにより、リコー・アジア・パシフィックは、プリントとドキュメント管理ソリューション、ビジュアル・コミュニケーション・ソリューションおよびITサービスを含む包括的

なソリューションの提供を追加する予定。

リコーは大手オフィス・ソリューション企業として、常に時代とともに変化し、ニーズと現代の顧客のビジネス環境の要件に応える事業を展開している。今回のACTI社のソリューションを追加することで、一段と事業展開を加速することができるとみている。

ルネサス、インターシルを買収

半導体大手のルネサスエレクトロニクスは、同業の米インターシルを買収する。買収額は最大3000億円規模になる見通し。ルネサスは買収により、自動運転などで需要増が見込まれる自動車向け半導体事業を強化する。

インターシルは1999年に設立され、自動車、産業機械、スマートフォン向けに半導体の開発、製造を手掛け、特に電圧を調整する半導体の技術に強みがある。欧米に加え中国など新

興国にも販路を持ち、2015年の売上高は5億2161万ドル(約524億円)で、従業員数は1,100人。

ルネサスは、連結7910億74百万円の売り上げがあり、自動車分野ではエンジンや車体などを制御する半導体に強い。インターシル買収で車載向け半導体の品ぞろえを強化し、顧客企業の拡大を狙う。

R.O.D.、北海道事務所を10月に移転

同社はこれまで、大阪本社、東京/名古屋/福岡/宮崎/仙台営業所にスタッフを常駐させて事業展開してきているが、北海道事業所は常駐営業担当者ではなく、出張により対応してきた。

最近の北海道地域での顧客拡大に伴い、北海道事業所を10

月1日の予定で北海道営業所として新たなスタートを切ることとなった。北海道営業所を開設することで、これまで行き届かなかった部分まで細やかにサポートできるように体制を整えていく。

中近東と西アジア最大のセキュリティ展示会 INTERSEC 2017

INTERSECは、2017年の開催が19回目となる中近東と西アジア最大のセキュリティ展示会で、近年はさらに周辺国からの来場者も増加している。

【2016年の実績】

■**展示会場** 展示会場は50,000㎡のスペースを使用したが、2017年には56,000㎡を使用する予定で、7つの展示会ゾーンが設けられる。

■**出展社数** 世界54カ国から1,280社が出展し、そのうち83%が海外からの出展だった。さらに、14の国別パビリオンがあり、国際色に富んだ会場だった。出展国別に見た上位10カ国は下記の通り。

1.アラブ首長国連邦 2.中華人民共和国 3.英国 4.米国 5.イタリ

ア 6.ドイツ 7.トルコ 8.台湾 9.韓国 10.インド

■**来場者数** 3日間の会期中、128カ国から31,261名の来場者が訪れた。そのうち約50%が海外からの来場者だった。国別の来場者は下記の通り。

1.アラブ首長国連邦 2.サウジアラビア 3.イラン 4.オマーン 5.カタール 6.クウェート 7.インド 8.パキスタン 9.エジプト 10.英国

来場者のうち84%が購買関与者で、来場者の94%が会場を訪問して満足したと回答している。世界的なセキュリティ需要の高まりにより、2017年には33,000名の来場者を見込んでいる。

■**展示会ゾーン** コマーシャル・セキュリティをはじめ、情報セキュリティや消防&防災、国防&警察など7つのゾーンが用意されている。

用途に応じた電子ロックの導入法

部屋や収納庫から自動販売・ATMなどの機器まで、ユーザ別また時間別などのアクセス管理と詳細な監査証跡を行う電子ロック・システム

新技術投入サイクルの短期化やIoT(モノのインターネット)の進展に伴い、個別の機器や収納庫などのエンクロージャ(筐体)へのアクセス制御・管理では、従来の物理的な錠前と鍵による管理方法に代わる電子化が新たなニーズとなっている。電子化による利点は、物理キー管理の煩雑さを排除し、より精密な遠隔からのモニタリングや管理を省コストで実現できることにある。

本稿では、ロックおよび施錠管理にインテリジェント機能を備えた電子ロックを導入する上で、機能性や運用性などの観点から用途的に最適な製品選びのポイントを紹介する。

電子アクセスの基本

インテリジェント機能を備えた電子ロックは、用途に適したユーザ・インタフェースとアクセス制御部との組み合わせで、防犯・セキュリティ性、意匠性、利便性など様々な機能を向上することができる。用途は様々で、荷物受領ロッカー・システム内の集中集金装置、政府機関のデータ・キャビネット、医療機関における投薬管理キャビネット、院内カートなどはその一例だ。

電子ロック技術は黎明期から大きく進化している。これまで一般的に用いられてきた電磁石を使用したソレノイド式ロックは、通電によりコイル内に磁界を発生させ、磁気で金属製のロックピンを引き付けてバネを操作し、開または閉の位置に保つ仕組みだ。

長らく使われてきたソレノイド式ではあるが、幾つかの難点も指摘されてきた。一つ目は開放/閉鎖状態を維持するには通電している必要があり、多くの電力を消費する点。二つ目は機械的な強度である。ソレノイド式は通常、ロック施錠時の電磁力が非常に低く、ロックピンをスムーズに作動できない場合(ロック設置部パネルの湾曲、庫内の内容物がドアを押し出すなどの理由によるピンの位置ズレとそれに伴う摩擦)に正しく施錠できないことがある。三つ目は制御性で、ソレノイド式ロック単体の制御性は単純なスイッチ入/切に限られる点である。

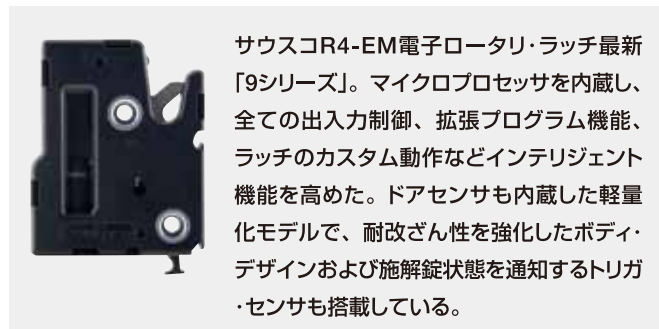
モータ式電子ロック

解錠時のみに通電するギアモータ式ロックはソレノイド式に比べより少ない電流(例:サウスコ製品の通常消費電力は500mA)でより大きな負荷に対応可能で、ロック自体のサイズはソレノイド式と同等である。より高い負荷に耐えることはロックの信頼性を高める点で重要な要素となる。例えば、ロッカーや引き出し内で内容物が引っ掛かり庫内からドアや抽斗を押し出す力が加わっている場合に、ロックが十分に機能するにはロック自体に

高い負荷に耐える構造が求められる。ロック異常時に即座の対応が難しい遠隔地の対象物を電子的に制御する場合には、物理的そして電子的に堅牢で故障のリスクが少ない構造が求められる。

ギアモータ式ロックは、用途に応じて柔軟に設計することができる。まずロックの施錠制御には、シンプルなスイッチ操作もしくはインテリジェント機能によるマイクロプロセッサ制御のセンサ経由が選択できる。電源供給は外部電源に加え、消費電力が少ないことから独立型として電池稼働による運用も選択可能だ。電子機能については、指定箇所のみ施錠解錠を行うものから、システム全体をネットワークに統合することも可能。ユーザ・インタフェースにはRFID読取機、キーパッド、携帯端末や生体認証などが使用でき、その他LED表示による視認性向上や異常状態の通知などをフィードバックする機能といった数多くの設定が可能だ。マイクロプロセッサ搭載のギアモータ式電子ロックは、より精密な制御性、監視、監査証跡機能などの設定ができるため、よりセキュリティ性の高い運用が可能である。

サウスコ社のギアモータ式電子ロックは、既存のビル入退出セキュリティ・システムに容易に統合し、既存のRFIDカード等をそのまま使用することができ、かつ消費電力も少ないため、導入・運用における全体コストの点でも利点を持つ。また、停電



サウスコR4-EM電子ロータリ・ラッチ最新「9シリーズ」。マイクロプロセッサを内蔵し、全ての出入力制御、拡張プログラム機能、ラッチのカスタム動作などインテリジェント機能を高めた。ドアセンサも内蔵した軽量化モデルで、耐改ざん性を強化したボディ・デザインおよび施錠状態を通知するトリガ・センサも搭載している。

時の対策として機械式または電気式オーバーライド機能を付加することもできる。

インテリジェントな運用性

インテリジェント機能を持つ電子ロックは、機械的な作動の他、施錠タイミングや解錠時間、指定した時間のみでの解錠など、詳細な設定が可能だ。内蔵センサは施錠状態やドアの開閉状態を監視し、ロック対象がアクセス可能状態である時に通知する機能なども付加することができる。また、省エネ性を高めるためロックを一定期間使用しない場合はスリープモードを設定することも可能である。

電子ロックの中には電圧制御機能を持ち、幅広い入力電圧に対し安定作動が可能なものもある。加えて、システムを停電やサージ、システム異常やエラーによる過電流から守る上では、

電気過負荷に対する保護機能も重要となる。

電子ロックにはまた、故障や改竄を防ぐ機能も必要である。インテリジェント機能を持つ電子ロックは、自己診断機能によりモータの異常などを検知できる。

また正常な作動でない場合には自動再起動による調整を実施し、調整が不可能な場合には解錠機能を停止してエラーメッセージを現場およびネットワークに発信し、施錠対象を遠隔モニタリングするなどのプログラム設定が可能。

その他様々な機能もカスタマイズが可能で、出入力信号のアルゴリズム、外部システムとの通信プロトコルなどはその一例だ。施錠箇所のアクセス制御を担う電子ロックはネットワーク・システムに状態をフィードバックし、またシステムからはアクセスレベル、アクセス権限などを詳細に設定することができる。

例えばATMや自動販売機などの場合、修理点検作業員には点検パネルのみ、在庫補充員は在庫補充パネルのみ、集金員

は集金パネルのみにアクセスを許可し、実際の解錠は作業対象機器の場所に作業員が到着したことを確認後に行い、また解錠時間も詳細に設定することができる。

なお、サウスコ社の電子ロック・システムによる電子記録は、PCIデータ・セキュリティ・スタンダード(PCI DSS)、米国連邦情報セキュリティ・マネジメント法(FISMA)、HIPAA(米国医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律)、米国重要インフラ保護法(CIPA)、米国サーベンス・オクスリー(SOX)法などのデータ・セキュリティに関するコンプライアンスに準拠している。

その他設計において考慮する点

電子ロックの選定にあたっては、その構成部材が設置環境に適していることもまた重要だ。屋外に設置する場合、ボディには耐腐食性で錆びにくいステンレス鋼またはめっき鋼を使用し、高温に耐え、ホコリや湿気の侵入を防ぐ耐熱性を持つ密封アクチュエータを備えた屋外仕様が適している。一般的に高負荷の用途には金属製ボディのものが適しているが、比較的負荷が低く、軽量化が求められる用途ではプラスチック製ボディが適している。材料はまた電子的な機能性によっても左右される場合がある。例えばRFID読取機など近接スイッチを利用する際に金属製ボディが信号障害の原因となる場合には、電磁干渉を避ける非導電性の材料が適している。

その他主な考慮すべき点は以下の通り。

- 設置場所: ロックを外側から見えないように内部に設置するか、もしくは外側に設置する。防犯性、こじ開けなどの破壊行為に備えた設計が重要
- 配線方法とコネクタの適合性
- 消費電力: 電源供給、配線、電気システムなどの全体的な省エネ性
- 停電時: 緊急時に備え、手動で施錠を解除できる機能

新しい技術を導入する際には、メーカーや製品の実績、そしてサポート体制も検討のポイントとするべきだ。なお、サウスコ社電子ロックソリューションについては、下記日本語ウェブサイトを参照。

<http://www.southco.com/ja-jp/minisites/eas/default.html>

サウスコ・ジャパン株式会社

〒554-0024

大阪市此花区 島屋6-2-82 ユニバーサルシティ和幸ビル7F

Tel: 06-6466-1200 <http://www.southco.com/ja-jp>



(左)サウスコ H3-EM電子ロックス
インハンドル(RFID仕様)
(右)サウスコEM電子キーパー、
既存の機械式錠に電子機能を
容易に導入可能



ネットワーク経由管理の例

大容量のストレージか、高性能なコーデックか？

映像監視ソリューションを設計する際、重要であるにも関わらず、見落とされがちなのがストレージだ。解像度の高い最新カメラが登場し、必要なストレージ量は留まることなく増え続ける。ストレージが案件の総コストに占める割合は、30%を超える勢いだ。新しいコーデックとハイブリッド型のクラウド・ストレージの採用により、必要なストレージ量を低減できる可能性がある。

●イスラエル・ゴゴル

ストレージの価格(ギガバイト単価)は、30年以上にわたり着実に下がり続けてきた。今では、テラバイトクラスのドライブが消費者向け製品として市販されている。このような低価格化を見ると、映像監視では、ストレージは今や考慮の対象にならないと思えるかもしれない。

しかし、監視案件でのストレージのコストは依然として無視することはできない。

IPカメラの進歩に伴い、必要なストレージの量は増大する。i3国際社最高執行責任者アンディ・ホアン氏は「ストレージの価格が低下したといっても、実際には、全体的な経済性に影響を及ぼしているとは思えない。過去3年でストレージのコストは50%低下したかもしれないが、カメラ台数と画質は3倍以上に跳ね上がっている。かつては1メガピクセルのカメラを使用していた場所で、今では3メガピクセル、4メガピクセル、さらにはそれ以上の解像度のカメラを使用するようになっており、ストレージよりも圧縮やチップセットで使用するコーデックの方が重要だ」と語る。

ヴェラシティ UKグループCEOアラステア・マクレオド氏の見解は異なる。同氏によると、ストレージの低価格化は、より高度な圧縮のニーズがそれほど差し迫ってはいないことを示している。「業界は既にその段階に達している。H.265の普及のスピードが非常に遅いのがその証拠だ。監視用ストレージ・システムが進歩し、HDD(ハード・ディ



スク・ドライブ)は大容量化する一方のため、ストレージ・システムの総所有コストは低下している。HDDの大容量化に伴い、RAIDベースのシステムの魅力が低下しているが、この状況は、映像監視専用に設計されるシーケンシャル・ストレージ・システムには理想的だ」とマクレオド氏は語る。

低価格化の進行により、ストレージはもはやボトルネックではなくなっている。これは、システムの付加価値を高めるチャンスでもある。大容量のストレージを手頃な価格で利用できるようになれば、より長期にわたる情報の保存と連続録画が可能になる。マイルストーン・システムズ社国際製品コミュニケーション責任者ヨス・スヴェンドセン氏は「特に映像解析の利用が増えていることを考えると、ストレージ・コストの低下は保存映像の画質の向上の好機になる」と言う。

必要なストレージ容量の見積もり

一般的に、必要なストレージの量をより正確に見積もるには、カメラ・メーカー各社が提供するストレージ試算プログラムを利用することを推奨する。多くのメーカーが独自のオンライン・カリキュレータを提供しており、必要なストレージ容量、帯域幅、電力消費量、システム要件を試算することができる。しかし、非常に多くの変数が関係することを考えると、カリキュレータだけでは十分ではない。

Pivot3社監視ソリューション担当上級部長ブランドソン・ライヒ氏は「計算そのものは比較的単純だが、計算で使用する変数は非常に多様だ。カメラの解像度、フレーム・レート、圧縮技術、圧縮レベル、画像の複雑さ(撮影場所で発生する動き、照明条件)、動きの比率、録画率、予測される保存期間などが変数として使用される。カメラとDSPのメーカーのばらつきも考慮しなければ

監視用ストレージシステムが進歩し、HDDは大容量化する一方のため、ストレージ・システムの総所有コストは低下している。

ならないし、こうした条件がイベントの発生により変化するか、つまりアラームの発生条件下でのフレーム・レートや解像度の上昇も考える必要がある」と説明する。

サイノロジ社APAC(アジア太平洋)地域監視営業責任者ジェファリ・ファン氏は、実地テストを行うことを推奨する。「私の経験では、最低限実行可能なテストを行い、日中の屋内、日中の屋外、夜間の屋内、夜間の屋外など、特定の状況下で必要なストレージ量を計算するように、顧客に勧めることが多い。1日分の録画を行い、必要な保存期間を掛け合わせて算出するのが得策だ。これで案件に必要なストレージ量を導き出すことができる」とファン氏は言う。

今後の拡張を考え、ある程度の「安全緩衝域」を設けることも推奨される。アクシス・コミュニケーションズAB社専門技術エンジニアのステファン・ルンドブルグ氏は「システムの導入後にカメラの増設を希望する顧客が多いため、ストレージの拡大に備えて、若干のマージンを見込んでおく必要がある。1つの案件で複数のストレージ形式を使い分けることもできる。核となる重要なカメラでは集中型のストレージを使用し、重要度の低いカメラでは低コストのローカル接続ストレージを使用する場合がある」と言う。

H.264か、H.265か?

ストレージに大きく影響するもう1つの要因が、コーデックの選択だ。今のところ、H.265はまだ採用初期の段階で、H.264



① アムバラ社マーケティング担当上級部長ベンゴ・クリステンソン氏
 ② i3インタナショナル社最高執行責任者アンディ・ホアン氏
 ③ サイノロジ社APAC地域監視営業責任者ジェファリ・ファン氏
 ④ アクシス・コミュニケーションズAB社専門技術エンジニア ステファン・ルンドブルグ氏
 ⑤ ヴェラシティUKグループCEOアラスデア・マクレオド氏
 ⑥ ジェネテック社製品マーケティング上級責任者ジミー・バラトソウカス氏
 ⑦ Pivot3社監視ソリューション担当上級部長ブランドソン・ライヒ氏
 ⑧ マイルストーン・システムズ社国際製品コミュニケーション責任者ヨス・スヴェンドセン氏

が消える兆候は見られないが、より高性能なコーデックが発表され、徐々に普及している。

QNAPシステムズ社製品責任者アラン・カオ氏は「H.265技術、映像録画のビットレートと必要なストレージ量を効率よく低減することができるが、システムやハードウェアの要件が高くなる。ある種の監視システムや機器では、H.264に基づいて強化されたコーデックとストリーミング技術を採用し、ファームウェアの迅速なアップデートと、高いシステム互換性を実現している。アクシス社のZipstream技術はその一例だ」と言う。

アクシス社ルンドブルグ氏によると、H.264が市場で存続している理由は、その成熟性にある。「H.264は成熟した映像圧縮規格だが、今まさに、H.264の大幅な改善が行われている。監視のみを目的に設計された専用のコーデックが初めて出現したのがその理由だ。従来は、どのコーデックも放送用に設計され、高照度で撮影するノイズのない映像が前提だった。監視市場向けにコーデックを最適化すれば、帯域幅を大幅に、より効率よく低減することができる。これが、当社のZipstream技術の背景にあるコンセプトだ。Zipstream技術は、従来のVBR以上にビット・レートが変化する『スーパーVBRコーデック』だ。撮影場所で動きが多くなると、動きが少なく、ビットレートがほとんど不要な時よりもはるかに高いビットレートが使用される」とルンドブルグ氏は説明する。

H.265はまだ端緒段階で、ライセンス条項の不明瞭さ、この規格をサポートするハードウェアの少なさといった問題が徐々に解決されている。アムバレラ社マーケティング担当上級部長ベングト・クリステンソン氏によると、業界で高解像度を指向する傾向が強まるにつれ、H.265は勢いを増すと予測される。

「H.265の需要を促進する要因の1つが、HD(2メガピクセル)



ストレージ製品価格は、長年にわたり着実に低下しているが、それが必ずしもソリューションのコストの低下につながるわけではない。

今のところ、H.264が消える兆候は見られないが、より高性能なコーデックが発表され、徐々に普及している。

の後継である新しい解像度規格4K(8メガピクセル)の発表だ。一般に、セキュリティ業界は消費財産業で発生した潮流を後追いするため、4KとH.265が今後の新しい技術標準だ。セキュリティ・アプリケーションでは、動きの少ない撮影場所が一般的だが、こうした状況で必要なストレージ量の低減に役立つ高性能なH.264エンコーダもある。高性能なH.265エンコーダなら、本質的に進化した圧縮技術により必要なストレージ量をさらに低減することができる」とクリステンソン氏は語る。

ただし、初期の不確かな情報に基づく推測から生まれた「H.265を使用すれば、必要なストレージ量を最大50%低減できる」という誤解について指摘しておかなければならない。現段階での低減可能なストレージ量は最大30%だとわかっている。カメラ・メーカー各社は、H.265に独自の圧縮技術を組み合わせて使用している。例えば、VIVOTEK社はH.265との互換性を前提に開発した独自の映像圧縮技術『Smart Stream II』を発表した。

この技術を使用するカメラは、シーン内の特定の部分について画質を最適化し、自動的にエンコーディングを調節して、帯域幅の使用効率を最大限に高めることができる。例えば、動く物体は高画質で背景は標準画質で録画することができる。このような選択的な録画は、ネットワーク帯域幅と必要なストレージ量の大幅な低減につながる可能性がある。VIVOTEK社製品責任者チャールズ・チェン氏は「H.265とSmart Stream IIの組み合わせは、最大限に効率の良いシステムを実現する」と言う。

クラウド・ストレージ-新たな多層型ソリューションの導入

ストレージの課題を解決する上で有益なもう1つの選択肢として、クラウド・ストレージが浮上している。録画した映像をある場所から別の場所に移動できる機能が、ユーザにメリットをもたらす。例えば、現場で連続録画した映像のうちアラームが発生した部分の映像だけを、集中管理環境やクラウドに移動することができる。

ジェネテック社製品マーケティング上級責任者ジミー・パラトソウカス氏は「クラウド・ストレージを使用すれば、ITインフラに追加投資を行う必要がなく、全体的な支出が減り、しかもIT部門の負担が軽くなるため、財政面でも運用面でもメリットがある。実際の使用状況に基づいて、必要なストレージ量をすばやく増



クラウドベースのストレージは利便性が高いが、帯域幅に関する懸念から、普及には至っていない。

減することができるため、柔軟性も高まる。このように、クラウド・ストレージは、従来のストレージと比較して多くの利点があり、ハイブリッド・クラウド・アーカイブは、従来のストレージとクラウド・ストレージの両方の長所を活かすことができる方式と言えるだろう」と語る。

ただし、現段階ではほとんどの環境で、全面的なクラウド・ストレージは現実的な選択肢ではない。特にカメラの台数が多い場合は帯域幅に関する懸念があり、クラウドは現実的な選択肢とは言えない。「クラウド・ストレージは非常に低コストだが、帯域幅はまだコストが高い。一般論として、コストを度外視しても、アップロード帯域幅の制約から、クラウド・ストレージを利用する事例は成立せず、ほとんどの領域でまだ先の話だ」とマクレオド氏は言う。

最適なハードウェアの選択

ストレージ量とは別に、最適なハードウェアを選択することも重要だ。「ストレージはどれも同じだと考える人が多いが、決してそうではない。しかも、大多数のストレージ技術は、映像監視とは異なるタイプのアプリケーションを前提に設計、開発されている」とライヒ氏は言う。

マクレオド氏も同じ意見で、「映像データもデジタルである以上、他のデータと全く同じと誤解されがちだ。実際には、映像データと一般的なITデータの間には、重要な決定的な違いがある。大規模な監視システムの場合、こうした違いが増幅される」と言う。この違いにより最適なシステム設計、システム寿命、総所有コストが大きく左右する。

「データそのものの違いというよりも、データがどのように生成、

保存、検索、変更、操作、表示、削除されるかの違いだ」とマクレオド氏は言う。

ほとんどの汎用的なITストレージや検索システムでは、データセットのサイズが映像と比較して限定されており、データセットが段階的に追加されていくペースは速くない。この種のシステムは、データベース全体を非常に高速に検索できるように、インデックスが付けられ、最適化されている。一般的に行われるデータの操作は、データを読み取り、何らかの方法で書き換え、元の場所に戻すというものであるため、読み取り、変更、書き込みの動作が絶え間なく発生する。帯域幅の利用も重要なパラメータだ。一般的なITデータの場合、需要の変動により、帯域幅の使用量に大きなピークと谷間が生じる。

一方、映像監視データの特性は全く異なる。全てのカメラから並行してデータが発生し、データ・レートには変動があるものの、一貫して高く一日中途切れることがない。録画場面の動きが多い場合や、夜間に照明が不十分で画像ノイズが増えると、データ・レートはさらに高くなる。さらに、監視映像データはほぼ単方向、すなわちストレージ・システムにのみ伝送され、録画データを100%とすると、検索と再生データはわずか1~3%程度に過ぎない。もう1つの大きな相違点は、映像データは書き換えられることがなく上書きされるだけで、明確に定義された保存期間が過ぎれば削除される。

マクレオド氏は「このような違いを理解すれば、ハードディスク障害を引き起こす3つの主な原因である高温、振動、摩耗を大幅に減らすシステム設計が可能になる」と説明する。例えば、映像監視ではディスクへの書き込みがシーケンシャルに行われるので、ドライブ全体にわたり書き込みヘッドの動きが遅く、結果的に温度が上がらず、摩耗を減らすことができる。また、書き込みを行わないディスクの電源をオフにすることにより、さらに摩耗を減らし、電力消費量を低減することができる。

ここ2~3年の傾向は、近い将来まで続く予測される。カメラの解像度が上がり、提供する情報量が増えるため、さらに大容量のストレージが必要になる。コーデック技術により、チャンネルあたりの必要なストレージ量を大幅に低減できるとしても、カメラ設置台数が増え、より高画質の映像録画が行われる可能性が高い。映像データをクラウド・ベースのデータセンタにアップロードするのに必要な広大な帯域幅は、まだ利用不可能であるため、業界は引き続きローカル・ストレージに依存することになる。今後は、ストレージ・ソリューションの設計と選択が、より重要になるだろう。





企業の価値を生み出す 高度な訪問者管理システム

●ウィリアム・バオ 著

訪問者管理に変革の時期が訪れている。訪問者をうまく追跡することができない従来の紙を使う記録方式に代わり、電子化された訪問者管理システムが続々と導入され、性能と効率の最適化を実現している。

訪問者管理は、どの企業においてもセキュリティ上重要な分野だ。部外者による犯罪活動が増えている現在、その重要性は増す一方で、訪問者の身元と滞在時間の記録は、軽視できる業務ではない。

ストップウェア社営業&マーケティング担当副社長デヴィ・ペンデュルトン氏は「特に9.11以後の15年間は訪問者管理ソフトウェアの採用率が着実に伸びている。近年では、学校での銃乱射事件が多発し、教育市場でも普及が進んでいる。セキュリティへの懸念が増えた結果、訪問者管理は、規模の大小を問わず、企業のセキュリティ・システムにおいて不可欠の必須の要素になった」と語る。

ゴー・レセプション社CEOスティーヴ・バレット氏も同意見だ。「訪問者システムは、24時間365日無休で作動する必要がある。このシステムは、単なるマーケティングや企業イメージのための飾りではなく、訪問者とスタッフの双方にとり、職場を安全な場所に保つ上で極めて現実的な手段だからだ」とバレット氏は言う。

紙とペンを使って訪問者を管理する時代が長く続いた。この非効率的で時代遅れの方法は、今でも少なからぬ数の組織で利用されている。HIDグローバル社APAC(アジア太平洋)地域担当取締役エリック・チウ氏は「この方法は安全性が極めて低く、多くの問題を引き起こす。書かれた名前が読めなかったり、偽名だったりするケースが非常に多い。名前が読めず、退出時刻の記入も義務付けられていないため、火災などの緊急時に、誰が建物の中に残っているかをすばやく判断することができな

業種別の要求

訪問者管理ソリューションに対する要求は業種により異なる。例えば官庁では、強力な訪問者管理ソリューションを導入し、訪問者のチェックインを行う必要がある。ストップウェア社営業&マーケティング担当副社長デヴィ・ペンデュルトン氏は「政府機関や、官庁向けソリューション・ベンダは、連邦政府職員や契約職員が携行する官庁用スマートカードを読み取れるように、PIV (Personal Identity Verification: 個人識別確認) の統合を要求する。さらに、



出入り禁止者リストを使用してスクリーニングを行い、米国政府や官庁施設で取引を禁じられている人物を排除しなければならない」と語る。

教育機関では、訪問者管理システムを警察のデータベースと統合し、出入りを禁じられている人物を排除する必要がある。セキュリティ・アイデンティフィケーション・システムズ社マーケティング責任者ヴァージニア・サヴィエット氏は「学区内では、児童を保護する必要がある。全米規模の性犯罪者リストなどの外部リストや、独自に開発した児童保護リストなどの内部リストを検索して、該当者の立ち入りを禁止することができる」と言う。

ゴー・レセプション社CEOスティーヴ・バレット氏は「警察の記録との統合を最も強く求めているのは英国の教育部門だ。当社のソリューションは、脅威や関係する人物を瞬時に識別し、そのような人が現地に到着した時点で直ちに当局に通知することができる。ソリューションの基本メカニズムは、名前と詳細情報のマッチングだが、脅威の即時通知に関しては一段と洗練されたメカニズムの開発にも取り組んでいる」と語る。

つまり、訪問者の管理については、業種ごとに固有の要求があり、こうした要求に合わせてカスタマイズできる訪問者管理システムであることが重要だ。「訪問者管理システムは、使いやすだけでなく、ユーザ画面や管理設定のカスタマイズ機能を搭載し、各企業の訪問者管理手順に応じてソリューションを調整できなければならない」とペンデュルトン氏は言う。



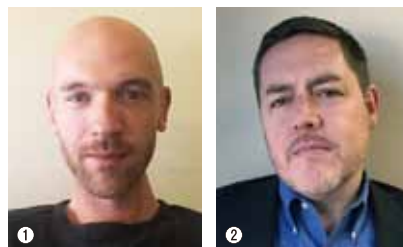
い。また、情報を機密扱いにすべき場合にも、どんな人が会社を訪れたか、誰でも簡単にわかってしまう」と語る。

こうした事情から、電子化した訪問者管理が求められるようになった。セキュリティ・アイデンティフィケーション・システムズ社マーケティング責任者ヴァージニア・サヴィエット氏は「従来よりもはるかに正確で、訪問者日誌では提供が不可能な様々な追加情報を提供することができる。例えば、訪問者の画像を含む個人データ、住所、性別、面会相手、訪問理由、会社名などの情報は、必要に応じて調査目的で利用することができる」と語る。

ブリヴォ社CEO兼社長スティーヴ・ファン・チル氏は「訪問者管理ソリューションを採用すれば、効率を高め、時間を節約し、署名の煩雑さを解消することができ、訪問者も迎える側も、より良いユーザ・エクスペリエンスが得られる」と言う。



訪問者向けに発行するアクセス・コントロール・カードを使用して、立ち入り可能な場所を定めている場合、最後に通過したドアを基準にして、訪問者の最新の居場所をすばやく特定することができる。



①ゴー・レセプション社
CEOスティーヴ・バレット氏
②クァンタム・セキュア社
製品担当副社長
ドン・キャンベル氏

主な機能

現在、ほとんどの訪問者管理ソリューションにおいて、ユーザ・エクスペリエンスが重要な設計課題になっている。ロビーにいる受付担当者の業務を円滑化するとともに、訪問者のエクスペリエンスを高めることが目標だ。ギャラガー社セキュリティ担当製品責任者エヴァン・モーガンズ氏は「訪問者管理システムにより、物理的な意味で企業の第一印象が決まる場合が多い。そのため、訪問者管理システムは、訪問者が到着し到着を知らせるという第一段階からブランドを代表し、企業の価値観さえも表現しなければならない。これに失敗すれば、訪問者からの悪評により企業全体が評判を落とす危惧が生じかねない」と言う。

タイム・デイト・セキュリティ社製品責任者ナイル・フォクス氏は「優れた訪問者管理システムは、施設内での訪問者のエクスペリエンスやライフサイクルに配慮している。システムが個人の立ち寄り先や行動を、『1984年』の『ビッグブラザー』のように監視しているという印象を与えてはならない。訪問者を歓迎し、施設内にいる訪問者に配慮していると思われるソリューションであることが重要だ。これは、一般的な意味でも、緊急事態が発生したときも同様だ」と語る。

今日の訪問者管理ソリューションは、最高のユーザ・エクスペ

訪問者の追跡

訪問者管理ソリューションをアクセス・コントロール・システムと統合すると、入館した訪問者の居場所をより正確に監視できるというメリットも得られる。ギャラガー社セキュリティ担当製品責任者エヴァン・モーガンズ氏は「訪問者向けに発行するアクセス・コントロール・カードを使用して、立ち入り可能な場所を定めている場合、最後に通過したドアを基準にして、訪問者の最新の居場所をすばやく特定することができる。訪問者向けに物理的なカードを発行しない場合は、訪問者は面会相手に関連付けられ、面会相手と同じ場所にいると見なされる。避難警告や緊急事態が発生した場合には、訪問者の

カード・イベント、または、面談相手の最新のカード・イベントに基づいて、訪問者の最新の居場所を示すレポートを作成することができる」と語る。

さらに、モーガンズ氏によると、今後、モバイル技術が訪問者の追跡に一定の役割を果たす可能性がある。「将来に目を向けると、携帯電話のGPS機能を利用して、施設内で訪問者を追跡できる機能が出現するはずだ。ただし、このような機能が業界の主流になるには、プライバシーや情報利用の制限など、幾つかのハードルを乗り越えなければならないだろう」と同氏は言う。



③HID グローバル社APAC担当取締役エリック・チウ氏
④タイム・デイト・セキュリティ社
マーケティング責任者ナイル・フォクス氏
⑤ヴァンデルビルト社社長ミッチェル・ケイン氏
⑥ギャラガー社セキュリティ担当製品責任者エヴァン・モーガンズ氏

リエンスと効率的な管理を実現するため、次のような機能を備えている。

受付

訪問者は、氏名と面会相手、入館および退館時刻を自分で書くのではなく、訪問者管理システムを使用して、受付プロセスを手早く済ませることができる。標準的なソリューションは、訪問者の写真を撮影するカメラ、写真付きIDカードを正確に読み取るID読み取り装置のほか、訪問者バッジを印刷するため、各種の印刷オプションを備えている。訪問者が自分でチェックイン手続きを行えるキオスクを玄関ロビーに設置する場合もある。

事前登録プロセスにより、受付工程をより能率化することもできる。これは、大人数の訪問者を迎える場合特にメリットが大きい。AMAGテクノロジー社営業担当上級副社長カート・タカハシ氏は「当社のソリューションは、Microsoft OutlookとGoogle Calendarに機能を組み込む。OutlookやGoogle Calendarを使用して会議を設定すると、出席者リストで指定した全員が自動的に事前登録される。訪問者を1人ずつ登録する余分なステップは不要だ」と言う。

統合

優れた訪問者管理ソリューションは、施設内の既存のセキュリティシステムと統合することもできる。ヴァンデルビルト社社長ミッチェル・ケイン氏は「訪問者管理プラットフォームはオープンで、レガシーシステムをシームレスに統合することができ、業務の中断を最小限に抑えられなければならない。人事ソリューションやイベント管理ソリューションなど、個別のシステムから自動的に情報を引き出すソフトウェアを搭載すれば、データの手動入力という中間ステップが不要になり、業務を能率化することができる。その結果、リソースを節約できるだけでなく、ユーザエラーも排除することができる」と言う。

チウ氏によると、社内のアクセス・コントロール・システムと訪

問者管理システムの統合は、特に貴重な機能だ。「チェックイン時に訪問者管理システムに入力された情報が、アクセス・コントロール・システムにそのまま引き渡される。アクセス・システムでは、訪問者管理ソフトウェアに入力された情報を使用して、訪問者のアクセス・カードを有効化する。訪問者が退出する時点で、訪問者用受付システムによりチェックアウトが行われ、アクセス・カードは自動的に無効になる。訪問者が誤ってカードを持ち帰っても、カード失効の日時が訪問者ソフトウェアからアクセス・システムに引き渡されているので、施設の安全が保たれる。指定の日時を過ぎるとアクセス・カードは無効になり、どのドアも開かなくなる」と、チウ氏は説明する。

通知

訪問者管理ソリューションは、チェックアウトしていない訪問者は、まだ建物内にいると判断する。これは、非常事態が発生し、訪問者に通知する必要が生じた場合に役立つ。ファン・チル氏は、「点呼機能を使用して、訪問者に緊急事態を知らせることができる。訪問者は電話番号を登録する際、緊急時にテキストメッセージか電子メールで連絡を受け取ることを選択できる。これは、緊急事態の発生時に、訪問者への通知、訪問者の追跡、訪問者との通信を行うための重要で貴重な機能だ」と語る。

クアンタム・セキュア社製品担当副社長ドン・キャンベル氏は「訪問者情報を収集する際、連絡先情報に加えて、希望する連絡手段を選択してもらうことが重要だ。訪問者の傾向として、音声通話や電子メールよりもテキストメッセージを選ぶ場合が多い」と言う。

訪問者管理ソリューションを採用すれば、
効率を高め時間を節約し、署名の煩雑さを
解消することができる。



- ⑦ストップウェア社営業&マーケティング担当
副社長デビィ・ベンドウルトン氏
- ⑧セキュリティ・アイデンティフィケーション・システムズ社
マーケティング責任者ヴァージニア・サヴィエット氏
- ⑨AMAGテクノロジー社営業担当上級副社長カート・タカハシ氏
- ⑩プリヴォ社CEO兼社長スティーヴ・ファン・チル氏

ビッグデータ分析

訪問者管理ソリューションは、訪問者のライフサイクルを管理するだけでなく、後で抽出し分析することのできるデータの発生源でもある。フォクス氏は「訪問の理由や一定期間中の第三者の訪問数などのデータを最適化し、特定の訪問者について、期間中の訪問頻度や施設で費やした時間、訪問理由などを明らかにすることができる」と言う。

ビッグデータ分析の時代を迎え、エンドユーザのビジネス支援に役立つこの機能は、特に重要だ。タカハシ氏は「分析により業務の最適化が可能になる。例えば受付担当者は1人で十分か、それとも2人必要か。10時から14時の間に訪問者が集中しているため、モバイル・ステーションを設置すべきか等々を判断することができる。ビッグデータ分析を通じて、どんな人がどの時間帯に何人訪れているか、所属先の企業も含め、全て指一本でチェックすることができる」と語る。

今後の傾向: モバイルからフリクションレスへ

モバイルは上昇中の時流で、エンドユーザと訪問者の双方に高度な柔軟性をもたらす。ケイン氏は「訪問者管理システムでもモバイル技術が応用されている。現在、市場に出回っているソリューションの中には、Wi-Fiネットワークで動作するものもある。セキュリティ担当者は、インターネットに接続できれば、どこからでもプラットフォームにアクセスすることができ、リアルタイムなアクセス・コントロール管理が可能だ」と語る。

「スタッフは、スマートフォンやタブレットを使って、訪問者の情報を確認し、チェックインやチェックアウトを行うことができる。訪問者がグループの場合には、1人ずつではなく、一括してチェックインすることができる。訪問者管理工程の全体的な能率化で、近距離無線通信(NFC)とBluetoothが主流になっている。訪問者はこの通信機能を利用して、ロビーにあるキオスクに備え付けられたタブレットを使ってチェックインすることもできる」とキャンベル氏は言う。

今後のソリューションはさらに一歩進んで、摩擦の生じずに



訪問者管理システムは、単なるマーケティングや企業イメージのための飾りではなく、訪問者とスタッフの双方にとり、職場を安全な場所に保つ上で極めて現実的な手段だ。

完全にフリクションレスで自動化されたエクスペリエンスを提供すると予測される。例えば、事前登録された訪問者が現れると、顔認識機能で認識し許可を出し、自動的にロビーの回転ドアを通過することができる。「フリクションレス・アクセスが改良されれば、訪問者のエクスペリエンスがさらに高まり、事前登録した訪問者の確認と検証に役立つ。先端技術の進歩に伴い、この分野は今後さらに面白くなるだろう」とタカハシ氏は言う。

妥協のない利便性

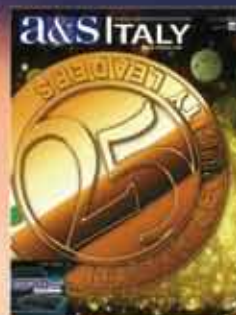
紙の記録簿を使用して訪問者を管理していた時代は遠い昔だ。今日のソリューションは、登録工程の簡易化や既存のセキュリティ・システムとの統合に加えて、ビジネス支援に利用できるデータ収集など、多くのタスクを実行することができる。

さらに、モバイル技術や生体認証の統合により実現できるフリクションレス・エントリーは、施設を安全な状態に保ちながら、ユーザ・エクスペリエンスをさらに高めることができる。AMAG社タカハシ氏は、今日の訪問者管理ソリューションの特徴である「妥協のない利便性」という言葉を好んで使うが、それこそが、訪問者管理ソリューションがさまざまな業種のエンドユーザに提供するものだ。





BUSINESS MEDIA FOR GLOBAL SECURITY BUYERS



asmag.com
Global Security Web

SMA home
mySMAhome.com

スタジアムの 群衆管理に 役立つ解析

スタジアムは時として破壊的行為のターゲットになることがある。イベントに集まる大群衆を考えるだけでも、この種の環境は保護するのが難しいが、イベント参加者の保護を容易にする、最新の先端技術が出現している。

● エイフェ・ストロム(フリーランサー)

2016年3月にイラクのスタジアムでサッカーの試合中に自爆テロが発生し、41人が死亡し100人以上が重軽傷を負った。この事件は、スタジアムでイベント開催中に発生した暴力行為の最新の事例に過ぎない。

何よりも重要なのは、観客とスタジアムの係員、イベント出演者とアスリートを守ることだ。ところが往々にして、スタジアムは立錐の余地もなく観客が密集し、死角になる場所が多いため、セキュリティ管理が非常に難しい。こうした事情から、商業ビルや公共交通機関とは異なり、スタジアムでは私設警備員に大きく依存せざるを得ない。映像監視カメラやアクセス・コントロール・システムまたは警報システムなど、従来利用されてきた物理的セキュリティ設備も極めて重要な要素であるが、先端技術の進歩に伴い、スタジアムのセキュリティ部門が利用できるセキュリティツールが進歩している。

こうした先端技術の1つが、群衆管理だ。狭い場所に何万もの人々が居合わせるスタジアムのような環境では、小さな出来事が簡単に大きなセキュリティリスクへと発展し、攻撃する側はそれを狙っている。映像解析のアルゴリズムの改良に伴い、大観衆がひしめくスタジアムに群衆管理先端技術を適用し、潜在的なリスクを発見する能力が高まっている。

スタジアムでのセキュリティの課題

スタジアムには、音楽好きの十代の若者から攻撃的なスポーツファンまで、イベントの種類により多種多様な観客が集まる。ヘルタ・セキュリティ社マーケティングエグゼクティブ、ローラ・ブランク氏は「最近のスタジアムのセキュリティにおいては、来場者の行動をコントロールするだけでなく、フーリガンやブラックリストに載った人物など、トラブルメーカーの出入りをコントロールすることが主な課題だ」と言う。

群衆管理に関しては、スタジアムで開催されるイベントのチケットの一括購入もセキュリティ上のリスクになる。バイカル・ディストリビューション社CEOラジ・サンデュ氏は「チケットが一括購入された場合、主催者側としては、チケットが誰の手に渡るかわからないリスクがある」と言う。

来場者の管理とは別に、あらゆる種類の混乱を未然に回避できるかどうか、セキュリティ上の懸念事項だ。「スタジアムで発生するセキュリティ上の問題のほとんどは、イベント当日の騒乱と群衆管理に関係している。すりや飲酒による風紀を乱す行為、暴行などの多発的な犯罪、すなわち反社会的行動の背景には、このような事情がある。群衆のトラブルは警備上の問題だけでなく、それによって生じる混乱とカオスに窃盗者が付け込み、悪事を働く原因にもなる」とサンデュ氏は語る。

ソフトウェアを使用した群衆管理

スタジアムの群衆管理は、主に現場の警備員が担っているが、トラブルが大きな問題に発展するのを防ぐために、映像監視データの映像解析が役立つ可能性がある。

ブランク氏は「技術面から考察すると、どのスタジアムにおいても、強力なソフトウェア管理ソリューションにより統合され、映像監視、アクセスコントロール、アラームモニタリングが可能なネットワークインフラが必要だ。スタジアムに設置するカメラのタイプにも注意を払う必要がある。目的に合った画質と解像度が得られる、適切なカメラを使用することが非常に重要だ。多くの人々が集まる環境をコントロールする場合は、とくに細心の注意が必要になる」と語る。

映像監視カメラからもたらされるデータを利用するヘルタ・セキュリティ社のソフトウェアは、複数の監視カメラを対象に、複数の人物の顔をリアルタイムで検知することができる。「当社の先端技術は、顔認識が可能な、高性能な映像監視ソリューションを実現する。とくに、変化のある混み合った環境で、被写体を即時に識別することができる。完全に自動化された非侵入性の先端技術で、顔の表情や照明、ひげや眼鏡、スカーフや帽子による変化があっても正しく動作する」とブランク氏は説明する。このソフトウェアは、スタジアム等の環境でありがちな照明の変化や、姿勢の影響を受けにくく、顔が部分的に隠れていても識別が可能だという。

映像解析を利用して、映像監視映像の中から一定のパターンを探り出すことにより、安全衛生上の観点から効率良く群衆を管理することが可能になりそうだ。「スポーツ競技用のスタジアムを単発的な音楽イベント等に転用するケースでは、会場内で群衆の渋滞が発生する懸念が大きい。入場口の変更やイベントの時間帯の違いに伴い、普段は使用していない出入口が使われる場合がある。さらに、会場に初めて来た人が多いため、効率よく誘導するのが難しい。映像解析を利用して、群衆の渋滞を特定し、安全衛生責任者にアラームを送れば、群衆の動きを管理するプロセスをリアルタイムで変更することができる」と、サンデュー氏は説明する

ヴィノーション社は、オランダに本社を置く映像のインテリジェント画像解析の専門企業だ。同社CEOエグベルト・ジャスパーズ氏は「当社が開発したViSenseシステムは、IPカメラを使用して、様々な方向から人々の動きのパターンを検知し計測し分析する」と説明する。ジャスパーズ氏によると、ViSenseシステムは、最大18m幅の道路で人数を計測し、1㎡あたり4人という非常



①ヘルタ・セキュリティ社
マーケティング総責任者
ローラ・ブランク氏

②ヴィノーション社
CEOエグベルト・ジャスパーズ氏

③バイカル・ディストリビューション社CEO
ラジ・サンデュー氏

に混み合った状況でも、平均約95%の精度を保つことができる。このソフトウェアは機械学習技法を利用して、性別や自転車の識別、速度や通過量、密度の計測など、単なる人数計測を超えた機能を実行する。これらの機能は、混雑状況下でのセキュリティ対策に有益だ。

さらにジャスパーズ氏によると、このシステムをスタジアムの出入口で使用して群衆を計測し、過密状態やパニック行動を検知することができる。IPカメラのデータを分析し、混雑し過ぎていると判断するとアラームを送信するので、適切な措置を講じ問題を未然に防ぐことができる。多くの人々が突然走り出したり立ち止まったりした場合にも、アラームが送信される。

群衆の中の顔認識

アルゴリズムの改良に伴い、群衆を対象とした顔認識の精度が向上している。スタジアムでは、人々が大きな集団の中で動いている場合が多く、特定の個人の顔を発見するのが難しくなり、人混みの中に身を潜めるには絶好の場所とも言える。

サンデュー氏は「ほとんどの顔認識システムでは、カメラの位置を慎重に選び、顔が一度に1つずつ、完全に見えるようにしなければならないが、当社のシステムは、群衆の中から特定の顔を検知することができる」と言う。同氏は最近の事例として、欧州で開催された音楽イベントで、警察が麻薬の密売人を探り当てるのに顔認識が役立ったケースを紹介する。「非常に大規模なイベントだったので、欧州中の密売人の顔を登録したデータ

ベースを用意し、全ての映像監視映像を、参加者と会場近くの公共映像監視カメラからの映像とを照合し、チェックした」と言う。



映像解析を利用して、映像監視映像の中から一定のパターンを探り出すことで、安全衛生上の観点から効率良く群衆を管理することが可能になりそうだ。

スタジアム・セキュリティのその他の傾向

スタジアムの保安部門では群衆管理の需要が大きいが、ソーシャル・メディアの監視やアンチ・ドローン技術などの先端技術も、事件発生の懸念に対処する上で一定の役割を果たしている。

位置情報に基づくソーシャル・メディアの監視

ソーシャル・メディアは、単なる友人同士の連絡手段の域を超え、ニュースを速報する手段としても利用されるようになった。ソーシャル・メディアは、大規模なスポーツ・イベントやコンサートの開催時に、観客の視点からスタジアムの状況を監視するツールとして利用することができる。スタジアムの保安スタッフは、ソーシャル・メディアの投稿を監視し、「喧嘩」「爆弾」「銃」などのキーワードの出現に注意することができる。ソーシャル・メディアの投稿は、保安スタッフが群衆の感情、意図、行動を把握する際にも役立つことがある。

ウィリンク社やスナップレンズ社またジオフィーディア社などの企業が開発したソーシャル・メディア監視先端技術は、スタジアムやその周辺でキーワードを検出すると、保安担当者にリアルタイムでアラームを送信するため、潜在的な脅威に対処することができる。ソーシャル・メディアの監視は、潜在的な脅威を当局に通報するだけでなく、事件発生後の原因調査にも役立つ。

アンチドローン技術

商業用途や娯楽目的で使用されるドローンの数が増え続けているが、個人情報上だけでなく、安全上の理由からも、ドローンの使用に懸念を感じている人は多い。スタジアム内部やその周辺でのドローンの無許可使用は、単に迷惑だけでなく、ドローンが墜落した場合を考えると、公衆安全上の脅威になりかねない。

オーストラリアのドローンシールド社、デンマークのアンチドローン社など、アンチドローン技術の専門企業が何社か存在する。

ドローンシールド社のウェブサイトによると、同社が特許出願中の音響検出技術は、レーダに映らないドローンや、無線リン

“スタジアムの保安部門では、群衆管理の需要が大きいが、ソーシャル・メディアの監視やアンチドローン技術などの先端技術も、事件発生の懸念に対処する上で一定の役割を果たしている。”

過去のデータを利用して 今後の犯罪を予防

過去に行われた同種のイベントのデータが、今後起こり得る事故の予測と抑制に役立つ可能性がある。バイカル・ディストリビューション社CEOラジ・サンデュ氏によると、解析を利用して過去数年間の犯罪統計に基づき、事件を防止することができる。「このような統計情報を、気象データや、イベント主催者による来場者のレベルに関するデータなど、他の統計情報と重ね合わせ、トラブルが起こりがちなホットスポットを予測する」とサンデュ氏は言う。スタジアムの保安部門は、このデータに基づいて、ホットスポットに警備員を配置する。サンデュ氏によると、このデータにより確かに犯罪は減少しているが、その分、別の場所で犯罪が発生していることを示すデータもある。

クのないドローンを感知することができる企業向けのセンサネットワークと連携して動作する。同ウェブサイトでは、スタジアム環境ではイベントの保安チームがドローンシールド社の技術を使用して、地上でも空中でもイベント空間のあらゆる次元を監視できると説明している。アンチドローン社のウェブサイトによると、アンチドローンは一種の周辺保護システムで、システムの主要構成機器は、一定の境界に入り込んだドローン、4つのローターを持つクワッドコプター、ヘリコプターを識別し、追跡することができる監視レーダだ。アンチドローンシステムは、映像監視システムや周辺監視レーダ等のシステムと統合することができる。

安全なスタジアム環境の確立

先端技術は、絶え間なく新たな進歩を生み出す。サンデュ氏は、セキュリティの次の開発領域は音声の利用だと指摘し、「事故の防止の可能性を考えると、発話から得られるデータは緊急性が高い。映像は証拠や科学捜査向きだ」と言う。

しかし、最大限の努力を傾けるとしても、テロ攻撃など重大な攻撃を防止するには、諜報活動とそれ以外のテロ対策手法の組み合わせが重要だという事実を忘れてはならない。このレベルの攻撃を完全に防止するのは、一朝一夕には不可能に近い。それでも、適切なセキュリティ対策は、来場者の安全を保つのに不可欠で、秩序の維持と人命の保護に重要な役割を果たす可能性がある。

ANS

secutech

VIETNAM

Vietnam's No.1 International Exhibition and Conference for
Security, Fire and Safety

BOOK NOW

21 – 24 September, 2016
Friendship Cultural Palace
Hanoi, Vietnam
www.secutechvietnam.com

The Stepping Stone into ASEAN, TPP Markets

Be Heard & Be Seen at Vietnam's Foremost Security and Fire
Safety Show

Messe Frankfurt New Era Business Media Ltd
Exhibition Department
Ms. Crystal Chen (ext. 216)
Tel: (886) 2 8729 1099
E-mail: stvn@newera.messefrankfurt.com

 secutech Vietnam



 messe frankfurt

ドイツに見る 新製品の傾向

●a&s SMAhome編集部

2016年前半、欧州でスマートホーム関連の見本市が幾つか開催され、いずれも盛況だった。世界最大の照明とビルオートメーションの展示会「Light + Building」では、エネルギー効率、使いやすさ、パーソナライズされたホームオートメーションという、ドイツでの最新の市場傾向が注目を集めた。ホームセキュリティ、快適性、エネルギー管理の強化が、ソリューション設計の目標になっている。

ドイツは一国の経済規模としても、スマートホーム市場としても欧州最大で、この地域でのホームオートメーション市場は、専門工事の市場と増改築の市場とで構成されている。ドイツでの専門工事業者が設置するシステムのネットワーク技術としては、KNXとIP (Internet Protocol)が有力だ。アドオンのスマートホーム機器の需要と、既存住宅の増改築需要が拡大し、無線通信が広く採用されている。無線ソリューションは導入が容易で、コスト面でも大衆の手が届きやすいと見なされている。

主な通信プロトコル

よく使われる無線通信規格として、EnOcean、ULE、ZigBee、Z-Waveのほか、eQ-3による独自仕様の無線プロトコルがある。EnOceanは欧州で人気の高い無線通信プロトコルで、このプロトコルをサポートするメーカーが150社以上存在する。EnOceanは、動き、日光、熱など、環境からエネルギーを得ることでバッテリーが不要な自己発電技術で名高い。ZigBeeも主要な無線プロトコルの1つで、特にスマート照明アプリケーションで利用されている。

電力とオートメーションの世界的な企業であるABBは、ABB-free@home無線システムを、Busch-Jaegerブランドで市場に投入した。このシステムは、工事業者、増改築市場向けに設計されており、住宅の配線をやり直さずに、ホームオートメーション・システムを導入することができる。周波数2.4 GHzの通信プロトコルとメッシュ・ネットワーク技術を採用し、照明、暖房、ブラインドの制御とドア通信を行う。

free@homeワイヤレスは、単独のソリューションとしても、free@homeの有線バージョンの拡張機能としても使用することができる。このシステムは音声コントロールもサポートし、より直感的なコントロールが可能だ。

Boschによると、接続能力に関しては、オープン規格とオー

ブン・プラットフォームを採用することで、最大限ユーザ・フレンドリな技術になる。ボッシュ社のスマートホーム・システムは、拡張性に優れたモジュール方式で設計されており、他のメーカ製のスマート機器と互換性があり、簡単に接続が可能だ。

KNXは、建物、ホームオートメーション用の有力な通信プロトコルの1つで、欧州大手企業、ABB、Gira、Legrand、Bosch、Philips、Jung、Schneider-Electricなど、既に400社のメーカーと5万社以上のシステム構築企業が採用している。

KNXを使用するIoT対応のホームオートメーション機器

が、Apple HomeKitのサポートにより、スマートウォッチを使用してコントロールできるようになった。nomos Boxは、Apple Watchを使用して接続先のホーム機器をコントロールするためのゲートウェイだ。nomosオペレーティング・システム(nOS)で動作するこのゲートウェイは、各種のプロトコルをサポートする。nOSは、サムスン社のSmartThingsや、Apple HomeKitと互換性のあるその他のアプリなど、IoTアプリとの接続が可能だ。

インテシス社は、エアコンをコントロールするための新しいゲートウェイであるUniversal AC to KNXゲートウェイ、AC to Wi-Fiゲートウェイを発表した。これらのソリューションは、迅速なセットアップと容易な設定が特徴だ。新しい汎用エアコン・ゲートウェイIS-IR-KNX-1は、40以上のエアコンブランドと互換性がある。エアコンの横に取り付けた



機器から、赤外線コードを使用してコマンドが送信される。赤外線受信機を組み込んだゲートウェイは、ユーザがエアコンのリモート・コントローラを使用して行った変更を受信する。設定は、USBまたはKNX TP1を使用してダウンロードすることができる。

IS-IR-KNX-1には、KNXバスから電力を直接供給することが

できる。インテシス社が発表したもう1つの新しいゲートウェイは、IP上でシンプルなローカル・プロトコルを使用する、ホームオートメーション・メーカーや構築企業向けに設計されたWi-Fiゲートウェイだ。

このゲートウェイは、設置した機器を自動的に検知し、Wi-Fi設定に従って、ダイナミックIP、スタティックIPを使用することができる。インテシス社は、IntesisHome iOSアプリ用のApple WatchとVoiceOverをサポートする新

しいアプリも発表した。VoiceOverを使用すると、視覚障害のある人が簡単にエアコンを制御することができる。

統合システムの提供

ロバート・ボッシュ社は、エンドユーザ向けに快適性と安全性そして利便性を提供するスマートホーム・ソリューションの専門会社、ボッシュ・スマートホーム社を設立した。同社が発表したBosch Smart Home Systemは、スマートホーム・コントローラとスマート・ラジエタ・サーモスタット、そしてドアと窓用の接点で構成し、増改築市場向けにPhilips Hue照明をサポートする。ドアや窓を開閉すると、ラジエタのサーモスタットが自動的にヒータを制御し、室内の温度を調整して、エネルギー管理を効率化する。

eQ-3のHomematic IPは、スマートフォン・アプリを使用して遠隔制御が可能な9種類のコネクテッド・ホーム機器を含む、総合的なスマートホーム・システムだ。このソリューションを使用して、ホームセキュリティ機器とエネルギー管理機器を制御することができる。このシステムは、双方向通信をサポートし、868MHzの無線周波数で動作する。この独自仕様のシステムは、

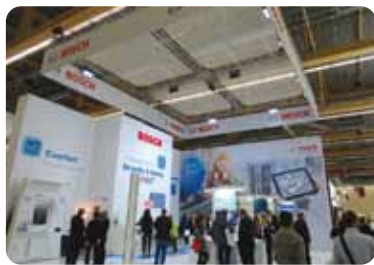
無線LAN、Bluetoothなどの無線規格に起因する干渉を受けない。ドイツに設置された同社のサーバは、プライバシーに関する懸念に対処するため、ドイツおよび欧州の厳密なプライバシー・ポリシーに準拠している。

ComfortClick bOSプラットフォームは、論理演算、存在シミュレータ、データ・ロギング、テキストの読み上げなどの特殊な機能を備える。ユーザが外出すると、bOSにより照明を消し、ブラインドを下げ、暖房が弱まり、電気ソケットをオフにし、人の存在のシミュレーションが有効になる。電気、水道、ガスの消費状況を監視し、エネルギー管理を改善することもできる。

Stiebel Eltron社が発表したDHE Connectは、インターネットへの無線LAN接続をサポートしており、スマートフォンやタブレットを使用して遠隔制御することができる。温度の事前設定、消費量とコストのグラフィック表示、設定のパーソナライズも可能だ。

数々の受賞歴を誇るEnno Panno SIは、KNXバス技術、EnOcean無線技術、RS485通信プロトコルをサポートするインテリジェント・コントロール・パネルだ。照明、シャッター、空調、暖房システム、マルチメディア機器の音声制御が可能なこの機器は、屋外気温の変化を検知し、それに応じて室内の気温を調節し、快適な生活環境を実現する。組み込みの赤外線センサと動体センサを使用して、ユーザが近付くと照明を点灯し、人物を検知すると自動的に省エネモードに切り替える。

Zipatileは、ジャスチャ・コントロールをサポートするオールインワン型のゲートウェイだ。この多機能機器は、ホームセキュリティ・システム、オートメーション・アプリケーション、老人介護システム、サーモスタット、インターフォン、ルーム・コントローラ、映像監視システムとして使用することができる。Wi-Fi





802.11 b/g/n、イーサネット、Bluetooth 4.0、Z-Waveプロトコルと互換性があり、Philips Hue、Sonos、Nestをサポートする。

Philips Hueホワイト・アンビエンス・スタータ・キットには、2個の白色アンビエンス(調光機能付)電球(4000k、800ルーメン)、減光スイッチ、Apple HomeKit対応のブリッジが付属している。ユーザは、Philips Hueアプリ、Siri音声コントロール、Apple Watchを使用して機器を制御することができる。

Philips Hueは、優れたユーザ・エクスペリエンスと相互運用性を実現するため、現在相互に作用する600以上のサードパーティ製アプリをサポートしている。このスマート照明ソリューションは、Nest Learningサーモスタット、Nest Cam、Nest Protect、Amazon Alexa、Bosch Smart Home Systemと連携することができる。

Philips Hueホワイト・アンビエンスでは、ユーザ独自の照明レシピを作成して、住宅の区域別に雰囲気と照明効果を変えることができる。また、「ルーチン」機能をサポートしており、「起床」モードでは、少しずつ光の強度を上げて夜明けを演出し、ユーザーを自然に目覚めさせる。「就寝」ルーチンを有効にすると、電球が少しずつ減光し、深い眠りに誘う。

安全、セキュリティ技術

映像モニタリング、火災・強盗アラーム、アクセス・コントロール・システムは、ホームセキュリティ、セー

フティの人気アイテムだ。

スマートフォンやスマートウォッチを使用して行う遠隔制御は、人気の潮流だ。例えば、Legrand社のHausstation Classe 300 X13Eは、7インチのタッチスクリーン・ディスプレイを装備し、スマートフォンを使用して遠隔制御することができる。Siedle社のインターフォン・システムのユーザは、スマートウォッチを使用して、離れた場所からドアフォンを制御し、よりの確なアクセス・コントロールを行うことができる。Schüco社DCS (Door Control System) は、ドア通信とアクセス・コントロール機能を組み合わせたシステムだ。玄関で動体を検知すると、映像カメラによりシステムが直ちに起動する。IPネットワーク、音声通話、映像通話をサポートするOpen SIP規格を採用していることで、IPテレビ電話、スマートフォン、タブレット、ソフトフォンに接続することができる。DCSが盗まれた場合には、IPセキュア・コネクタにより自動的にネットワーク接続を切断するため、鍵の操作や内部ネットワークへのアクセスは不可能だ。



Siedle社の新しいビデオ・ステーションは、従来のハンズフリー機器よりも20%もの低価格を実現している。同社はIoT化の傾向に対応し、アクセス、スマート・ゲートウェイ用の新しいアプリを備えた、よりスマートなドア通信を実現している。ユーザはスマートフォンやApple Watchを使用して呼び出しを受信し、ドアを解錠することができる。誰かがドアのチャイムを鳴らすと、Apple Watchが信号音を発し、ドアの前に立つ人物のライブ映像を表示する。屋外のIPカメラを統合すれば、App 2.0を使用して直接カメラを選択し、自宅の周囲の状況を見ることができる。

製品設計でエネルギー効率を考慮することは、ドイツでは当たり前になっている。また、ホームオートメーション市場では、統合システムが多く見られるようになった。インターネットに接続する相互運用可能なシステムがますます増え、ホームセキュリティにエネルギー管理機能を組み合わせている。スマートホームでの人間中心型の設計は、確実に勢いを増している。住宅の快適性と安全性を高める、スマートなアルゴリズムに対応した、直感的に操作することができるインテリジェントな小型機器は、今後さらに増えるだろう。

よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャバテル 代表取締役 佐々木宏至

本稿が掲載後ほどなくして、GDSF JAPAN 2016が開催されるが、弊社も出展しているのでは是非ご来場いただけたら幸いです。出展内容としては以下を予定しています。

- 1) Genetec Security Center 各社スマートコーデックの比較展示
- 2) Genetec Security Center Nvidia GPUパフォーマンス (4K 高速スムーズ再生 高速スムーズ逆再生 タイムシフト&ライブサムネイル)
- 3) Genetec Security Center インテリジェントビデオモーションとオンボード画像分析
- 4) ノート de はじまる Genetec Security Center サブスクリプション(月間、年間利用料)
- 5) ノート de はじまる Javatel どこカメ@VSS インテリジェントビデオモーション
- 6) 仕事効率化ツール Javatel どこカメ@VMS メディアストリーミング

今回もテーマを決めずブログ風に様々なテーマを書く。

市場破壊者の存在

読者諸氏は鉄鋼産業において凄まじい事態が継続していることをご存知かと思う。強烈なダンピングによる市場破壊で、これにより欧州と中国の関係の険悪さが決定的となっている。実は、これと同様の事態が監視カメラ産業でもリアルになっている。ズバリ言う。バリフォーカルのパレット型やドーム型でIP66仕様の3メガピクセルのカメラが120米ドル台でエンドユーザに販売されている。私の予想では中国二大メーカーはいずれ合併するだろう。全ての背景が中国で爆発的に拡大した内需の終焉が発端となるからだ。

NVRからの脱却

既にNVRのコストは極限まで下がったが、では爆発的にマーケットが拡大しているのか?北米では4カメラ接続のNVRは100ドル台で流通している。日本でもAmazonや楽天あるいはYahooなどでググると、9,800円という表示がごろごろしている。結論だけ言えば、価格がどれだけ下がっても大勢にそれほどのインパクトはないのかもしれない。

つまり、小規模な領域ほど工事コストの比率が上がり、機器のコストダウンは販売業者の利益を圧迫しているだけかもしれない。工事費が15万円、カメラとレコーダが30万円で物販の利益率が30%とした場合、工事利益を別にして9万の粗利が得られる。しかし、カメラとレコーダが10万円の場合、同一利益率だとたったの3万円しか利益とならない。

原価が極端に小さくなると利益率に意味がなくなる。要するに扱うのが嫌になるかもしれない。さらに、NVRだとトラブルが起きた時に100%駆けつけを要求されるリスクが高い、リモート(遠隔)サポートができないからだ。ホームセキュリティ分野は成長市場とされているが、いくらコストを下げてもこの分野ではほとんど相手にされていない。なぜか?彼らはホームセキュリティが生命と財産の保全には役立たないことを知っている。意味があるのは一部経営者と法の執行者にとっただけだ。一番重要なことは、侵入させない物理的な対策。それでも侵入されたら即時伝達され、絶対にかち合わないこと、たったこれだけだ。つまり、徹底したセンシング技術と一体でなければ本質的に生命と財産の保全には役立たない。

しかし、公共施設や区域、金融、レストラン、小売業の領域では不特定の人を受け入れないとビジネスにならない。

この状況下でのセンシングとなると、画像分析の選択は避けて通れない。過去においても現在においても、投資家を落胆させ続けて来たにもかかわらず、参入企業数は増加し続けている。特に顔認識分野は急成長すると考えられる。その根拠として、Google AIを頂点にプロセッサ能力、GPU能力の飛躍的な向上が確実に寄与していくが挙げられる。

例えば人口1万5千人の町で6店舗のコンビニエンス・ストアがあり、1店舗当たり2500人の来客数とする。この場合、1万人のホワイト・リストが成立すれば十分に管理が可能となる。センシング技術を高度に利用したイベント・アクション・メカニズムを徹底しようとする、組込NVRではとっくに限界に達している。

IPVMによる情報では、現在市場で認知されているベンダを列記しているが、日本からはソニー1社だけなのは何とも寂しい限りだ。

北米:米国・3VR社、アクセンチュア社、アヴェンチュラ社、アヴィドビーム社、カミオ社カミオ・テスト、チェックビデオ社、シス

コ社、フリーア・システムズ社(前DvTel社/IOImage社) Flir/IOI解析テスト、ジャイアントグレイ社、ハネウエル社、IBM社、インテリヴィジョン社、イントゥヴィジョン社、ISS社、ジェムズ・テクノロジ社、オブジェクトビデオ社、プリズム・スカイラボ社、ピュアテック・システムズ社、サイトロジック社、ヴェリント社

北米:カナダ・アヴィジロン社アヴィジロン解析テスト、アイメティス社、iQrity社

南米:ブラジル・ペガサス社

欧州:イスラエル・エイジェントVI社、ブリーフカム社、エムザ社、イマンゴDSP社、クオグニファイ社

欧州:イタリア・A.I.テック社、アイテック社、マジエンダ社、テクノウェア社

欧州:英国・デジタル・バリアーズ社、インディゴヴィジョン社、イブソテック社、VCA社、ヴィゼウム社

欧州:フランス・シティログ社、フォクスストリーム社

欧州:ドイツ・ボッシュセキュリティシステムズ社ボッシュ解析テスト、IPS社、ネタヴィス社、RIVA社、ヴィアシス社

欧州:スペイン・フレーム・アナリティクス社、Ngaro社、ヴィジュアル・ツール社

欧州:スウェーデン・アクシス社アクシス解析テスト、ゴグニマティクス社(2016年アクシス社が買収)

欧州:その他・ACIC社(ベルギー)、アクスオン社(ロシア)、トップ・キ社(ポーランド)、キウィ・セキュリティ社(オーストリア)

APAC:豪州・iCetana社、iOmniscient社、

APAC:台湾・ACTI社、インステク・デジタル社、NUUO社

APAC:インド・オールゴヴィジョン社、i2vsys社、ビデオネティクス社

APAC:その他・Hikvision社(中国)Hikvision解析テスト、リテイルフラクス社(トルコ)、サムスンSDS(韓国)、ソニー(日本)

前号ではIPカメラのプロトコル、撮像素子、光感度を取り上げた。今回はレンズを解説する。

最近の見積積算でレンズ選定がほとんど無くなっている。従来は固定ボックス型カメラ+レンズが多かったが、最近はドーム型やバレット型で事足りる。PTZの仕様で重要なのは倍率で、何でもかんでも30倍みたいな状況が蔓延している。

実際に、屋外設置のフルHDカメラ(4.3mm~129mm)で30倍、焦点距離129mmの映像を見たことあるだろうか?そう、絵にならないのだ。その理由を説明するには枚挙に遑(いとま)がないが、簡略に言えば、通過光量が低下するとSN比が劣化し、ドームカメラでは風などの揺れが相まっての結果だ。

レンズは様々だが、大きくは「焦点距離」と「F値」で表記される。焦点距離が短くなるほど広角系に、長くなるほど倍率が上がり、望遠系のレンズになる。またF値はレンズの明るさを表示し、絞りを開放にした状態の明るさをそのレンズのF値とする。F値が小さいほど明るいレンズとなる。明るいレンズほど様々な条件下で撮影の自由度が高くなる。レンズの明るさは、焦点距離とレンズ口径で決まる。同じ焦点距離であれば、レンズの口径が大きいレンズほど明るいレンズになる。

例えば焦点距離50mmでレンズ口径17.8mmであれば、「焦点距離÷レンズ口径」で、F値は2.8だ。F値には二つの意味がある。一つは露出設定の絞り値をあらわし、もう一つがレンズ自体の明るさ。レンズの絞りを最大に開いた開放時の明るさをそのレンズのF値と呼び、レンズの能力を表す。開放時の明るさはレンズの口径が大きいほど明るくなる。ちなみに人間の眼の明るさはF1.0とされている。

レンズ選定ではF値が最重要だが、大半の監視カメラに装着されたレンズではF値の表記が雑すぎ、またどこまで信用できるかが微妙だ。運用面ではモータライズドのバックフォーカス調整があると非常に便利なのだが、ほとんどスペックインされていないのが残念だ。



前回解説の追補

Docokame@VSS



- 1) カメラに依存しないインテリジェンス動体検知
 - 2) マルチサーバー統合機能を標準搭載
 - 3) 設定はモジュラーデザインアーキテクチャーを搭載
 - 4) Windows、Linux、Mac OS、Androidで作動
 - 5) ほとんど全てのIPカメラ、USBカメラ、キャプチャーカード
 - 6) ローコストライセンス 1カメラ MSRP 2,499円から
- 供給方法 アプライアンスでのみ、弊社サイトB to B (代理店契約必要)
B to C Amazon Yahooショッピング

株式会社ジャバテル

www.javatel.co.jp

専門サイト nvr.jp ipcam.tv



本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-北 1-21 八千代ビル東館 3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル 3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834

GDSF JAPAN 2016



先進のセキュリティ・ソリューションを体感できる展示会とセミナー
Advanced Security Solution Exhibit & Seminar 2016



開催概要

- 日 時：2016年9月15日 13時-18時
2016年9月16日 10時-18時
- 会 場：東京秋葉原UDXギャラリー
- 入 場：事前登録制

お問い合わせは

a&S JAPAN (ASJ合同会社)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10階
TEL：03-6206-0448 E-MAIL：info@asj-corp.jp
URL：http://www.asj-corp.jp/

ボッシュセキュリティシステムズ株式会社



ブランド名	BOSCH	郵便番号	100-0014
住所	東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9階		
電話	03-5485-4427	FAX.	03-3507-4422
URL	www.boschsecurity-jp.net		

展示概要 固定ボックス型カメラDINIONシリーズ、固定ドーム型カメラFLEXIDOMEシリーズに加わった、BOSCHの最新ハイエンドモデルをご紹介します。新モデルは、ダイナミックレンジと低照度対応が更に進化、明暗差の激しい場所や暗い場所へもより広範囲に対応可能、スタンダードとアドバンスが選択可能になった映像解析機能に加えてデータセキュリティも強化されており、60fpsの滑らかな画質でお客様の高度なニーズにお応えすることが可能です。また、インシーリングタイプの新機種は、フラットで極薄なカバーに自由にカラーリング可能、美観を損なわない場所への設置に最適です。

株式会社デジタルマックスジャパン



ブランド名	HIKVISION	郵便番号	135-0022
住所	東京都江東区三好2-6-7 1.2F		
電話	03-6240-3400	FAX.	03-6684-0633
URL	http://dmj.co		

展示概要 HIKVISIONのIPカメラ「2-LINEシリーズ」と、フルHDワンケーブルカメラ「HD-TVI」シリーズ、更にレコーダー統合管理ソフト「IVMS-4200」を紹介させていただきます。HIKVISIONの製品は昨今の高画質化や製品のIP化に合わせ、録画ストレージの大容量化、IP管理の簡略化など、機器性能の向上を日々続けています。また性能だけでなく、国内流通している製品と比較すると、非常に魅力のあるコストパフォーマンスを発揮します。現状のセキュリティ事業において、コストや性能、品質などの面でお悩みのお客様は、是非弊社ブースまでお越し頂き、扱い易く、高性能なシステムをご体験ください。

株式会社フォースメディア



ブランド名	VIVOTEK, QNAP	郵便番号	141-0022
住所	東京都品川区東五反田1-13-12 いちご五反田ビル4F		
電話	03-5798-5607	FAX.	03-5798-5602
URL	http://www.forcemedia.co.jp/		

展示概要 VIVOTEKのネットワークカメラ、NVR、PoEスイッチ、CMS/VMSソフトウェア等、ネットワークカメラータルソリューション、およびQNAP turbo NASと連動したバックアップソリューション等を紹介いたします。

株式会社ジャバテル



ブランド名	GENETEC、どこカメ	郵便番号	530-0041
住所	大阪市北区天神橋 2-北1-21 八千代ビル東館3F		
電話	06-6354-0100	FAX.	06-6136-1155
URL	http://www.javatel.co.jp/		

展示概要 1) Genetec Security Center各社スマートコーデックの比較展示
2) Genetec Security Center Nvidia GPUパフォーマンス (4K 高速スムーズ再生 高速スムーズ逆再生 タイムシフト&ライブサムネイル)
3) Genetec Security Center インテリジェントビデオモーションとオンボード画像分析
4) ノート de はじまる Genetec Security Center サブスクリプション(月間、年間利用料)
5) ノート de はじまる Javatel どこカメ@VSS インテリジェントビデオモーション
6) 仕事効率化ツール Javatel どこカメ@VMS メディアストリーミング

ハイテックインター株式会社



ブランド名	-	郵便番号	151-0053
住所	東京都渋谷区代々木3-28-6 いちご西参道ビル3F		
電話	03-5334-5260	FAX.	03-5334-3688
URL	https://hytec.co.jp/		

展示概要 マルチベンダーデコーダシステム「MDS」等のデモ展示
■機器の特徴
・各ベンダーのCCTV、ネットワークカメラを1台で監視・制御
・AXIS/Canon/Panasonic/Sonyほか各社IPカメラ・エンコーダに対応
・最大16分割同時表示
・最大1024台のカメラを登録可能(追加料金不要)

三星ダイヤモンド工業株式会社



ブランド名	DAHUA	郵便番号	本社：566-0034 東日本222-0033
住所	本社：大阪府摂津市香露園32-12 東日本：横浜市港北区新横浜2-3-4 クレシンドビル7階		
電話	本社：072-648-7526 東日本：045-548-4731	FAX.	本社：072-648-7582 東日本：045-548-4732
URL	http://www.mitsuboshidiamond.com/ http://www.dahuasecurity.com/		

展示概要 H.265の4K(8M)、12Mを中心とした最新のIPカメラ製品と、4MのHD伝送を可能としたHDCVI 3.0の製品を展示させていただきます。IPカメラの進化として、4K(8M)で30fpsのリアルタイム表示を体感いただけます。HDCVI 3.0では4Mで30fpsのリアルタイム表示を体感いただけます。また、Wi-Fi対応製品もご紹介させていただきますのでご期待ください。

株式会社KJフェロー MOBOTIX JAPAN



ブランド名	MOBOTIX	郵便番号	231-0011
住所	横浜市中区太田町6-85 RK Cube 4F		
電話	045-227-6174	FAX.	045-227-6286
URL	http://www.mobotix-japan.net/index.html		

展示概要 屋内に適したローコストカメラから、耐候性の高い屋外対応ダイナイトカメラ、サーマルカメラを中心に紹介。ハードウェア性能をご紹介するだけでなく、カメラ自身に内蔵された一歩進んだ画像解析機能(動体検知、人数カウント、動線密度分析)も合わせて紹介致します。
また、ネットワークカメラの技術を生かしたドアホンタイプのカメラに加え、新たに新登場となるMXMC (VMS)の主な機能紹介も行います。

株式会社ネットカムシステムズ



ブランド名	KxViewPro、さば録	郵便番号	101-0021
住所	東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル6階		
電話	03-5207-8591	FAX.	03-3254-1508
URL	http://www.netcam.co.jp		

展示概要 ・当社売上No.1ネットワークカメラ監視ソフトの決定版
・マルチベンダー対応だから、どのメーカー製のカメラでも使える
・パソコン操作さえできれば楽々、直感的な操作感
・128台のカメラまで一括表示OK、見やすい分割画面
・クリック1つで、見たいところにカメラが動く、音声も拾える
・録画した映像の確認が簡単、便利な機能がいっぱい
・魚眼レンズの映像もキレイに展開、平面で確認できる
・建物の平面図からカメラ映像を呼び出せる、便利なMAP機能を搭載
・お客様の個別ニーズに合わせたカスタマイズにも対応可能

株式会社ニューテック



ブランド名	Vess A/Rシリーズ	郵便番号	105-0013
住所	東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル		
電話	03-5777-0852	FAX.	03-5777-0853
URL	https://www.newtech.co.jp/index.html		

展示概要 ニューテックでは、お客様の大切なデータを守るために、様々なデバイスやソリューションを取り揃えています。
ワールドワイドな視点で、最適な製品をお選びください。私たちが皆様と世界のかげ橋となり、技術・情報の両面から強力にサポートしてまいります。

日本電業工作株式会社



ブランド名	DENGYO	郵便番号	102-0074
住所	東京都千代田区九段南4-7-15 JPR市ヶ谷ビル		
電話	03-6812-1415	FAX.	03-3263-4308
URL	http://www.den-gyo.com		

展示概要 長距離無線LANシステム「FalconWAVE」、マルチカメラ監視 miniZOOM、おだけカメラ
業界最小の低消費電力無線機とアンテナメーカーならではの高特性を活かした長距離無線LANカメラソリューションをご紹介します。長距離かつ高画質での無線映像伝送が実現する「FalconWAVE」のラインナップ、カメラと無線機を一体型にした「マルチカメラ監視miniZOOM」や「おだけカメラ」により、今まで電源確保の難しい場所や伝送距離が長く通信回線構築の困難な場所でのカメラ監視が実現します。既存の施設への後付けによるセキュリティ強化や工事・災害現場での臨時監視、緊急時の映像中継など設置場所や環境を問わず活用できるシステムです。

日本クアンタムストレージ株式会社



ブランド名	StorNext	郵便番号	107-6012
住所	東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル12F		
電話	03-4360-9255	FAX.	03-4360-9397
URL	http://www.quantum.com/JP/		

展示概要 日本クアンタムが提供するStorNextは映像業界で広く認知され、多くの放送局様や制作会社様で採用されている製品です。今回はそのStorNextをベースにした10～1000台の監視カメラの環境に対応可能で、長期保存が必要な場合には低価格かつ高信頼性をもつLTOテープディスクと組み合わせることができるストレージソリューション(Xcellis: エクセルリス)を紹介します。Xcellisは監視カメラメーカー、VMS等のベンダーから幅広く認定された監視カメラ環境に最適なストレージ製品です。

岡谷エレクトロニクス株式会社



ブランド名	OEC映像監視ソリューション	郵便番号	222-0033
住所	横浜市港北区新横浜2-3-19 新横浜ミネタビル8F		
電話	045-475-1502	FAX.	045-475-1503
URL	http://www.oec.okaya.co.jp/		

展示概要 世界のあらゆる先端商品をサポートしている岡谷エレクトロニクスでは、最先端のテクノロジーやプラットフォーム技術をベースとした、革新的な組込みシステムをご提案致します。また、国内外のシステムパートナーと連携し、お客様のソリューション構築を企画段階から強力にサポート致します。
FA監視システム向けソリューション、異常検知ソフトウェア、映像解析ソフトウェア、監視カメラシステムの関連製品など、様々なシーンに合わせたソリューションを展示します。

株式会社ピーエスアイ



ブランド名	Transition Networks / BCI(Broaddata Communications)		郵便番号	160-0022
住所	東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル4階			
電話	03-3357-9980	FAX.	03-5360-4488	
URL	http://www.psi.co.jp/			

展示概要 当社ブースでは、BCI社製4K/HD-SDI/HDMI映像光伝送装置(デジタル信号非圧縮)及びトランジションネットワークス社製IP光伝送装置(屋外IP監視カメラ伝送用の動作温度拡張産業用メディアコンバータ/PoEスイッチ等)を多数展示します。産業用PoEスイッチには、自動パワーリセット機能を搭載した製品や光伝送だけでなく、過去のインフラである同軸ケーブルを利用して、ギガビットに近い伝送速度を実現しながら、監視カメラなどのPoE-PDデバイスに電力を供給することができるユニークな製品および電源不要な産業用PoE-PDメディアコンバータ(ギガビットで障害通知機能搭載)なども展示しております。

株式会社R.O.D



ブランド名	VioStor	郵便番号	105-0014	
住所	東京都港区芝3-15-3 YODAビル5階			
電話	03-5419-3354	FAX.	03-5419-3359	
URL	www.rodweb.co.jp			

展示概要 VioStorは、4チャンネルから48チャンネルまでのカメラを登録・録画できるNVRシリーズです。対応することができるネットワーク・カメラは、国内・海外の約100メーカー、3,000機種以上。しかも、簡単な設定(かんたんセットアップ)で、すぐに使うことができます。また、前面のワンタッチ・バックアップ・ボタンを押すだけで、設定された期間のデータをUSB HDDにバックアップすることができます。操作は、USB端子にマウス(別売品)を接続することで、PCレスでモニタリングや録画再生が可能。VMobileを使ってiPhone/iPad/iPod touch/Android対応機器からVioStorにアクセスし、モニタリング、録画再生、スナップショット撮影を行うことができます。

SHANY



ブランド名	SHANY	郵便番号	-	
住所	台湾台北市内湖区内湖路1段92號4樓			
電話	+886-2-2659-0071	FAX.	+886-2-2658-4626	
URL	http://www.shany.com/Joomla/			

展示概要

■主な展示製品

HD-SDIソリューション、HD-Analogソリューション、電動レンズCoC、PoC機能など

■概要

SHANY(シャニー)エレクトロニクスは、20年以上にわたりCCTV製品を開発し製造している企業です。弊社ブースにご来場いただける全ての皆様を、長年の顧客と同様に歓迎いたします。

株式会社セキュリティデザイン



ブランド名	HIKVISION	郵便番号	107-0052	
住所	東京都港区赤坂2-18-14 赤坂STビル			
電話	03-6230-3021	FAX.	03-6230-3023	
URL	http://www.security-d.com			

展示概要 監視カメラ製品で世界シェアトップのHIKVISION製ネットワークカメラ・ネットワークビデオレコーダー等の各種監視カメラ製品。また、監視カメラ遠隔監視に適した上り通信容量無制限のLTE回線SIM(SD Free SIM)とその利用ソリューション。

サンシステムサプライ株式会社



ブランド名	exacqVision	郵便番号	104-0033	
住所	東京都中央区新川1-25-2 新川STビル4F			
電話	03-3397-5241	FAX.	03-3399-2245	
URL	www.sunss.co.jp			

展示概要 tyco社主要製品の「exacqVision」NVRと「イラストラ」IPカメラの展示を行う。市場ニーズ急拡大のカメラだけで本格的監視可能な「イラストラエッジ」や新カメラブランド「イラストラ」の各シリーズ展示を行う。IPカメラ差別化技術であるエッジ、3Dノイズ除去、真のWDR、低照度性能などNET低帯域化や録画低容量化に寄与する先進技術をご提案します。イラストラでは超低価格「エッセンシャル」や多機能「フレックス」、高機能「プロ」の各シリーズをご紹介します。映像と付加価値情報が得られる画像解析システムや人数カウンターカメラの展示も併せて行う。小規模店舗向けホルスNVR+エッセンシャルも発表展示を行う。

VIVOTEK INC.



ブランド名	VIVOTEK	郵便番号	-	
住所	台湾新北市中和區連城路192號6樓			
電話	+886-2-8245-5282	FAX.	+886-2-8245-5532	
URL	http://www.vivotek.com/			

展示概要 新製品のMS8391-EVとSC8131を日本初公開します。MS8391-EV180度のパノラマビューとなる4機の3メガピクセルCMOSセンサを備え、30メートルの範囲をカバーするIR光源を搭載しています。SC8131は、VIVOTEKが独自に開発した3D深度テクノロジーによるデュアルレンズを搭載し、正確なトラッキングにより98%のカウント精度を実現します。

2016年9月

GDSF JAPAN 2016

会期：2016年9月15日 - 16日
15日・13:00 - 18:00
16日・10:00 - 18:00

会場：東京秋葉原UDXギャラリー
主催：ASJ合同会社、a&s JAPAN
URL：[/www.asj-corp.jp/gdsf_info.html](http://www.asj-corp.jp/gdsf_info.html)

SECUTECH VIETNAM

会期：2016年9月21日 - 24日
会場：フレンジシップ・カルチュラル・パレス
ベトナム社会主義共和国 ハノイ市
主催：Messe Frankfurt New Era
Business Media
URL：<http://www.secutechvietnam.com/en/index.aspx>

フードセーフティジャパン2016

会期：2016年9月28日 - 30日
会場：東京ビッグサイト東1-3
主催：食品産業センター、
日本食品衛生協会
URL：<http://www.f-sys.info/fsj/>

10月

Cloud Days 2016

会期：2016年10月19日 - 21日
会場：東京ビッグサイト東4-6
主催：日経BP社
URL：<http://expo.nikkeibp.co.jp/cloud/2016fall/exhibition/>

ITpro EXPO 2016

会期：2016年10月19日 - 21日
会場：東京ビッグサイト東4-6
主催：日経BP社
URL：<http://expo.nikkeibp.co.jp/itexpo/2016/>

モバイル&ウェアラブル 2016

会期：2016年10月19日 - 21日
会場：東京ビッグサイト東4-6
主催：日経BP社
URL：<http://expo.nikkeibp.co.jp/sma/2016/exhibition/>

IoT Japan 2016

会期：2016年10月19日 - 21日
会場：東京ビッグサイト東4-6
主催：日経BP社
URL：<http://expo.nikkeibp.co.jp/iot/2016/exhibition/>

危機管理産業展(RISCON TOKYO)2016

会期：2016年10月19日 - 21日
会場：東京ビッグサイト西1-2
主催：東京ビッグサイト
URL：<http://www.kikikanri.biz/>

テロ対策特殊装備展(SEECAT)2016 Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism (SEECAT)

会期：2016年10月19日 - 21日
会場：東京ビッグサイト西3
主催：東京ビッグサイト
URL：www.seecat.biz/

11月

Embedded Technology 2016 /

組込み総合技術展
会期：2016年11月16日 - 18日
会場：パシフィコ横浜
主催：一般社団法人 組込みシステム
技術協会
URL：<http://www.jasa.or.jp/expo/et/>

IoT Technology 2016/IoT総合技術展

会期：2016年11月16日 - 18日
会場：パシフィコ横浜
主催：一般社団法人
組込みシステム技術協会
URL：<http://www.jasa.or.jp/expo/iot/>

2017年1月

INTERSEC

会期：2017年1月22日 - 24日
会場：Dubai International Convention
and Exhibition Centre
アラブ首長国連邦 ドバイ首長国
主催：Messe Frankfurt New Era
Business Media
URL：www.intersecexpo.com/

3月

SECURITY SHOW

会期：2017年3月6日 - 10日
開場：10:00 - 17:00
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：<https://messe.nikkei.co.jp/ss/>

リテールテックJAPAN

会期：2017年3月6日 - 10日
開場：10:00 - 17:00
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：messe.nikkei.co.jp/rt/

ライティングフェア

会期：2017年3月6日 - 10日
開場：10:00 - 17:00
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：messe.nikkei.co.jp/ld/

JAPAN SHOP

会期：2017年3月6日 - 10日
開場：10:00 - 17:00
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：messe.nikkei.co.jp/js/

4月

SECUTECH INDIA

会期：2017年4月6日 - 8日
会場：Bombay Exhibition Centre
インド共和国 ムンバイ市
主催：ABEC EXHIBITIONS &
CONFERENCES PRIVATE
LIMITED Messe Frankfurt New
Era Business Media
URL：<http://www.secutechindia.co.in/>

SECUTECH TAIWAN

会期：2017年4月12日 - 14日
会場：台北南港国際展示館
台湾 台北市
主催：Messe Frankfurt New Era
Business Media
URL：<http://www.secutech.com/>

intersec

22 – 24 January, 2017

Dubai, UAE





The world's leading trade fair for
Security, Safety & Fire Protection

7 Show Sections

Commercial Security
Information Security
Smart Home
Fire & Rescue
Safety & Health
Homeland Security & Policing
Perimeter & Physical Security

www.intersecexpo.com

A close-up of a blue touch-screen interface, likely a tablet or smartphone, showing a grid of security-related icons. The icons include a padlock with a lightbulb, a fire extinguisher, a camera, a smartphone, a mobile phone, a megaphone, a hard hat, a fire truck, a server rack, and a laptop with an arrow. The screen is tilted and the background is a dark, textured surface.

 messe frankfurt

VIVOTEK社、新製品情報

ステレオ・ネットワークカメラSC8131



SC8131は、VIVOTEK社が独自に開発した3D深度テクノロジーによるデュアルレンズを搭載し、正確なトラッキングにより98%のカウント精度を実現した。さらに店舗業務

を効率化できるよう、同社製中央管理ソフトウェアVASTIにシームレスに統合でき、リアルタイムでのデータ転送、総合的な分析レポートを提供する。

本製品は既にアジアや中南米のショッピングセンターに導入されており、Wavestore Video Management Software(VMS)と完全に統合するで、今後の一段上のインテグレーションを実現することができる。

【SC8131の主な特長】

●正確なトラフィック分析

独自に設計されたSC8131のデュアルレンズは、人間の目と同じように動作する。98%の高い精度を実現する3D深度テクノロジーにより、カメラは、単独とグループや大人と子供を区別し、

カートやベビーカーを除外する。さらに両方向のカウントでは、移動の境界を識別し、移動の方向を追跡することで、Uターンで二重にカウントされることを防止する。

●スタッフ管理の向上

店舗では保安要員やパートタイマーにより手作業で来店者数を計数することがあるが、満足する結果を得られることは多くない。本製品の導入により、より正確な結果を得て、来店者計数用スタッフを本来の業務に効果的に配置することができる。

●最適な意思決定を支援

SC8131を人数計数報告書生成用のVASTと組み合わせることで、ビジネス・インテリジェンスを強化できる。棒グラフや線グラフまた円グラフなど視覚的に表現されたレポートを、スケジュール単位やエリア単位で出力し、そのデータはMicrosoft Excelで分析できる。

しかも、VASTが提供するシームレスなカウント機能のデータは、予期せぬネットワークや電源のトラブルが生じても常時確実に保存される。これによりビジネスに不可欠なデータについてもアクセスできる。

マルチセンサ・ネットワークカメラ MS8391EV

本製品は、4つの3MP CMOSセンサーを搭載する独自の設計により、死角を最小限に抑えた180度のパノラマビューを提供する。監視範囲を最大化しながら必要なカメラ台数を削減できることで、設置コストやメンテナンス・コストも削減できる。さらに、IK-10およびIP66規格に準拠したケースで防護され、-50度から60度までの広範囲の温度差変化に対応し、屋外使用での信頼性、耐久性を備える。



【MS8391EVの主な特長】

●IR光源を内蔵

プロフェッショナルな昼夜対応カメラとして、MS8391-EVは30メートルの範囲をカバーするIR光源を内蔵。またスマートIRテクノロジーにも対応し、環境光の変化に応じて即座にIR光量を調整して過剰露出を防止し、ノイズ低減処理を行う。

●3Dノイズリダクションとスマート・ストリーム・テクノロジーを装備

これにより、低照度でも高品質な映像を得ることができ、ネットワーク帯域の消費を最適化する。

●各種アクセサリを用意

状況に応じて様々な設置を可能にするコーナーマウントまたはポールマウントを用意。

【問い合わせ先】

VIVOTEK

<http://www.vivotek.com/>

アクシス新製品情報

AXIS Q36ネットワークカメラ・シリーズ

本シリーズは「AXIS Q3615-VE」および「AXIS Q3617-VE」の2機種からなり、1/2型センサを搭載し、Lightfinderおよびワイド・ダイナミック・レンジ(WDR)-フォレンジックキャプチャーなどにより厳しい光条件においても優れた画質と高性能な画像処理を提供する。

また当シリーズ独自のリモートパン/チルト/ロール/ズーム(PTRZ)機能は、設置にかかる時間を大幅に減らし、再設定時にも効果的である。

【主な特長】

- 電子動体ブレ補正
- IK10等級の耐衝撃性能
- 防水防塵および衝撃検知
- Zipstreamテクノロジー搭載・重要な映像の詳細を犠牲にすることなく帯域幅とストレージ使用量を平均で50%以上削減。
- LightfinderとWDR-フォレンジックキャプチャー搭載・暗い場所でもカラー映像を提供するとともに、例えば日光が明暗差



の大きな場所を同時に作るような厳しい光条件下でも鮮明な映像を提供。

●高解像度映像の提供

AXIS Q3615-VE・1080p解像度をWDR作動時に30fps、WDR不作動時に毎秒60fpsまでの映像を提供。

AXIS Q3617-VE・Quad HDあるいは4メガピクセルの解像度をWDR作動時に30 fps、6メガピクセル解像度でWDR 不作動時で20fpsまでの映像を提供。

- ADP(Axis Application Development Partner Program)に参画パートナーが提供する、多数の映像管理ソフトウェア(VMS)に対応

- アクシス製純正VMS「AXIS Camera Station」に対応

- ACAP (AXIS Camera Application Platform)およびONVIFに対応

【価格(税別価格)】

AXIS Q3615-VE 固定ドームネットワークカメラ・215,800 円

AXIS Q3617-VE 固定ドームネットワークカメラ・247,800 円

AXIS Q60 PTZ ドームカメラ

本製品は、AXIS Q60 PTZ ドーム・ネットワークカメラ・シリーズに追加した6機種。このうち4機種には、フォーカスリコールを搭載。最新機能には、より高度な分析性能のために強化されたプロセッサおよび光感度も含まれている。



また、今回の新製品全機種に帯域幅とストレージ使用量を大幅に削減するアクシスのZipstreamテクノロジーを搭載。

【フォーカスリコール】

予め設定したエリアに対してすぐにフォーカスを合わせる機能で、光条件の厳しい場所で、PTZ カメラをより容易に利用できる。これにより手動によるフォーカスの照準や、数秒かかることもあるオートフォーカスによる調整を待つ必要がなくなる。フォーカスリコールは特にコントラストが低く、一点から光がさすような場所、例えば交通において強いヘッドライトが次々とやってくる場合などに有効。また手動でジョイスティックを頻繁に動かさなくてはならないようなシーンで役立つ。AXIS Q6052/-EおよびAXIS Q6054/-Eに搭載。

【主な特長】

- Zipstreamテクノロジー搭載・帯域幅のピークをコントロールできるため、必要に応じて現場検証用の詳細を残しつつ、設置とメンテナンスにかかる費用の大幅な削減が可能。

- モデルにより最大36倍光学ズームと1080p解像度を提供。

- デイ/ナイト機能、WDR、メモ리카ード・スロットを搭載

- 屋内モデルに全て双方向音声、音声検知、I/O ポート、24 V AC/DC 電源およびIP52 準拠の防塵・防滴保護を提供。

- 堅牢な屋外対応モデルは耐衝撃(IK10等級)性能とIP66 およびNEMA 4X準拠の塵、雨、雪に対する保護を提供。停電後でも-40°Cの温度環境で安全に始動する極寒温度管理機能を搭載。

●【価格(税別価格)】

AXIS Q6052 PTZドーム・ネットワークカメラ 335,800円

AXIS Q6052-E PTZドーム・ネットワークカメラ 415,700円

AXIS Q6054 PTZドームネットワークカメラ 375,700円

AXIS Q6054-E PTZドームネットワークカメラ 447,700円

AXIS Q6055 PTZドームネットワークカメラ 407,700円

AXIS Q6055-E PTZドームネットワークカメラ 495,700円

HIDグローバル、新製品情報

IDカードプリンタ FARGO® DTC5500LMX

【主な特長】

- 革新的なウェイトレス・ラミネート加工技術により、従来のキャリアフィルムの廃棄を完全になくし、消耗品のコストを40%削減。
- 世界初のGreen Circle®認定を受けたウェイトレス・ラミネート加工プリンタで、消費電力を60%削減。
- 新技術iON™で、プリンタ/ラミネータは起動から45秒でラミネーションを開始。最初のカードの印刷までに必要な通常の

時間を最大80%短縮。

- 優れた耐久性および堅牢性で、業界最高クラスのカード保護と製品保証を提供。

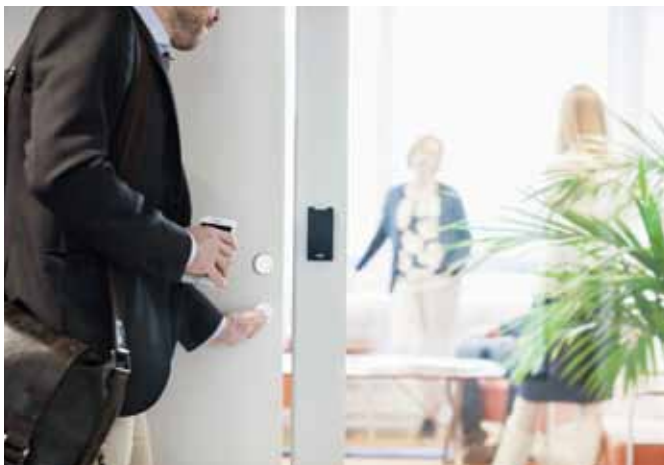


モビリティイニシアティブ

モビリティイニシアティブとは、モバイルデバイスに付与された信頼できるIDが、様々なアクセス・コントロール、認証、IoT(モノのインターネット)アプリケーションなどで利用できるようにすることを目的としたソリューション、サービス、技術投資および提携を含む戦略の総称。本システムには、新しいモバイルID用HID goID™プラットフォーム、HID Mobile Access®などの最新のモビリティソリューションが含まれている。

●モバイルID用HID goID™プラットフォーム

国や地方自治体は運転免許証、パスポートなどのIDドキュメントのためのクレデンシャルを無線ネットワークを通じて市民のスマートフォンに発行することができる。また、スマートフォンをオールインワンのセキュアクレデンシャルおよびID読取機として使うことができるようになるため、入国管理などでID読取機が不要になる。



●HID Mobile Accessの新機能

建物へのアクセスにスマートフォンだけでなく、スマートウォッチやタブレットをできるように拡張。

●HID Professional Services™

コンプライアンス、セキュリティおよびリスクの管理ニーズに応える新しいサービス。データ、クラウドアプリ、Webサービスへの安全なアクセスを実現するモバイルアクセスおよび強固な認証ソリューションを設計および実装するための専門的な技術を顧客に提供。

●ActivID® Tap Authentication for Microsoft

ユーザはスマートカードをラップトップ、タブレット、携帯電話、その他のNFC対応デバイスにタップするだけで、Office365やその他のクラウドアプリとWebサービスに簡単に、かつ使いやすくアクセスできる。

●ActivID® Trusted Transactions

モバイルプッシュ通知により、スマートフォンをセキュリティトークンにすることで、PIN番号やパスワードの入力や認証のための質問に回答する手間をなくす。

●HID Trusted Tag® Services

NFCトランザクションの信頼性が強化され、実現不可能だったようなIoTアプリケーションを利用できるようになる。

●HID Globalのモビリティポートフォリオの強化

Samsung、NXPおよびその他の業界大手企業とのパートナーシップにより、モバイルソリューションの採用を推進。

【問い合わせ先】

HID Globalジャパン TEL:03 6206 1017

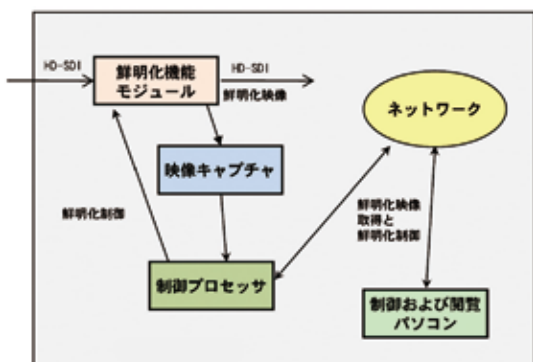
<https://www.hidglobal.jp/>

ユニバーサルコンピュータ研究所、映像鮮明化装置のネットワーク対応機能強化版を発表

今回発表した製品は映像鮮明化装置のネットワーク対応機能強化版で、悪条件下での映像の鮮明化を行うリアルタイム鮮明化機能モジュールを中心に、鮮明化映像をキャプチャするデバイスと制御プロセッサによるリモート機能を強化した。

システムは、ハードウェア・モジュール・タイプとコンパクトでポータブルなソフトウェア・タイプも用意している。

【システム構成図】



【鮮明化映像例】



【主な特長】

- 制御機能が充実し、各種悪化映像を条件別に自動制御
- バックエンドでの鮮明化客観評価アルゴリズム搭載
- 最適鮮明化の鮮明化パラメータの管理が可能
- 条件を一定化して、シーン再現性を確保
- 鮮明化映像の遠隔伝送
- 条件指定で鮮明化映像の自動録画および配信
- 建物劣化の経年変化を定量的に時系列判断可能
- 霧かすみ状態の改善

【問い合わせ先】

ユニバーサルコンピュータ研究所

URL: <http://www.ucl.co.jp/> Mail: security@ucl.co.jp

モフィリア、USB接続の指静脈認証機器新機種をリリース

今回供給開始する機種は、USB接続で指静脈の登録と認証が可能な生体認証デバイス「FVA-U4ST」。国内のマイナンバー制度対応需要とそれに追従する各業界での需要増加に加え、アジアや中東地域での生体認証への需要の高まりにより、初年度2万台出荷を目標としている。

【FVA-U4STの主な特長】

本機器は、指を平置きに置くタイプのため、初めてのユーザーでも直感的に操作することができ、導入や運用の手間を軽減する。対応SDK（ソフトウェア開発キット）と組み合わせて使用することで、Windows、Android、Mac OS、Ubuntuのクライアント、Windows、CentOSのサーバと、幅広いプラットフォームに対応する。従来のモフィリア機器同様、デバイス内またはサーバ上で認証（照合）処理を行うことが可能で、消費電力が他社製品の約1/3の省電力設計の日本国内製造製品。

認証に使用する個々人の静脈情報データは、ワイヤレスでテンプレート（静脈データ）の登録と認証を可能にしたBluetooth接

続機器FVA-U4BTと共有することが可能で、様々な場面で応用することができる。

【主な仕様】

- 電圧・電流・認証時：最大220mA 充電時：DC5V 500mA
- 電源・内蔵式リチウムイオンポリマー充電電池
充電時間：約2時間 充電回数：約300回
連続認証回数：約500回
- 外形寸法・幅49mm x 高さ63mm x 奥行き92mm
- 質量・約130g
- インタフェース・Bluetooth、USB（充電のみ）
- 指置き検出センサー・静電方式

【価格/出荷時期】

価格はオープンプライス。SDKは別売。2016年10月下旬から出荷開始の予定。

【問い合わせ先】URL: <http://www.mofiria.com>



ボッシュ、FLEXIDOME IP panoramic 7000 IC を発売

FLEXIDOME IP panoramic 7000 ICは、自由なカラーで塗装可能なハウジングを備えた高精細パノラマ・セキュリティ・カメラ。

本製品は、監視カメラに必要な精緻画像を提供するため、12メガピクセル・センサ搭載し、任意のカラーで塗装可能なハウジングを備えていることで、美観を損なうことなくユーザに快適

な消費体験を提供することができる。また従来の監視用途にとどまらず、マーケティング用途としても適用可能な映像解析技術を備えているため、1台で複数の課題に対応することができる。



【特長】

●極薄7mmで塗装可能なハウジング

厚さ7mmで壁面や天井のカラーに合わせた塗装が可能なハウジングにより、美観を損なわせることなく設置が可能、店舗などの商業施設の他、アートギャラリーや美術館、豪華客船などにも適用する。

●マーケティング用途への応用が可能なインテリジェント映像解析機能

インテリジェント映像解析機能は、従来の置き去り、持ち逃げ、

不審者検知などの監視用途に加え店舗への入退店カウントや、動線の把握までを外部PC不要、カメラ単体で実現する。

●滑らかな映像を映し出す超高精細センサ

12メガピクセル・センサにより捉えられた画像は、1秒間に30フレームで処理され滑らかな映像として出力することができる。

●データ容量を抑える映像処理技術

高精細であるほどデータ容量が増える傾向がある中、独自の映像処理技術で高圧縮し、録画容量も抑制することが可能。

●1台でHD画質のカメラ4台に相当

180度または360度のパノラマビューを利用することで、1台で4台分のHD画質カメラに相当する映像を取得。

【本製品に関する情報】

FLEXIDOME IP panoramic 7000 シリーズ(Web)

<http://bit.ly/2azVovo>

FLEXIDOME IP パノラマカメラ(PDF)

<http://bit.ly/2aemWC>

FLEXIDOME IP panoramic 7000 と IC、どちらを使うべき?(YouTube)

<https://youtu.be/s93pPTngnt4>

【問い合わせ先】

ボッシュセキュリティシステムズ

URL: <http://jp.boschsecurity.com/>

ジェネテック、Security Center 5.5を発表

統一セキュリティ・プラットフォームの世界的ブランドSecurity Centerバージョン5.5の主な特長は次の通り。なお、詳細については次号で解説する予定。

【Security Centerの機能強化】

- システムの復旧
- アラームのグループ化とフィルタリング
- プラン・マネージャの機能拡張
- 新たに階層されたSDKパッケージ
- 64ビットモードでのセキュリティ・デスク
- アクティブ・ディレクトリ・ユニバーサル・グループのサポート

【Omnicast™の機能強化】

- RTSP接続のセキュリティ強化

- 三層化されたアーカイバ・フェイルオーバー

- スナップショット機能の強化

- MP4エクスポートの強化

【Synergis™の機能拡張】

- アレジオン社シュラゲのロックの統合
- ピア・ツー・ピア(P2P)通信
- 非アクティブ・クレデンシャル/カードホルダーの自動有効期限
- 強化された暗号化
- マーキュリー・スケーラビリティの強化

【AutoVu™の機能拡張】

- トリガー上のシングルリード
- ホットリストのヒットの削除

オプテックス、外周警戒用侵入検知センサの新製品シリーズを発売

今回発表したシリーズは、外周警戒用侵入検知センサ「SL(スマートライン)シリーズ」9機種。本製品は、建物や敷地の外周に沿って設置し、センサが侵入者を検知すると、直ちに警備会社や監視センターに通知することで、施設への不正な侵入を早期に発見し、犯罪を未然に防ぐことが可能となる。



オプテックスは、不審者が建物や敷地に入るまでに屋外で侵入を検知し、犯罪を未然に防ぐことの重要性にいち早く着目してきた。侵入されてから通報する事後通報から、侵入される前に防ぐ「事前抑止」という考え方を取り入れた外周警戒用のセンサを製品化し、既に外周警戒用センサの世界市場で約40%のシェアを有している。

同社では、商業施設や工場また重要施設までの幅広い現場環境での防犯対策として、海外で実績のある当センサシリーズをラインアップに追加することで、国内での外周警戒用の侵入検知センサを普及させ、これまでに以上に事前防犯を推進する。

【SLシリーズの特長】

●正確で安定した検知を実現

侵入検知センサが使用される屋外は、小動物や草木の揺れによる周囲環境、雨や雪または風などの自然環境の変化が発生

する過酷な環境である。そのような環境下でも侵入者を確実に検知するため、霧の発生等の環境変化に応じてセンサ性能を安定的にする自動投光量調整機能(特許取得済み)や、誤報要因となる鳥や小動物などの検知を防ぐ4段ビーム同時遮断検知機能を搭載している。これらの高い耐環境性能により、施設や敷地の安全性の向上を実現する。

●正確で効率的な設置・調整が可能

本センサは、近赤外線を発する投光器とそれを受ける受光器との2本による構成で、その間で近赤外線が遮られると発報する仕組みになっている。従来の赤外線センサは、2本の各センサの調整状況(光軸レベル)を確認するために2人1組での調整作業が必要だった。本シリーズは、双方向通信機能(特許取得済み)を搭載することで、作業員が1人で正確な設定・調整ができるようになった。

●施設の景観を邪魔しない防犯対策を実現

文化財施設や美術館、高級店などの景観を重視される施設では、センサの大きさや見た目は重要項目の一つであり、このような施設でのニーズに応える、スリムな筐体(当社従来品体積比44%削減)の開発に成功し、施設の景観も守ることができる。

【製品価格】汎用機種SL-60QN(J)・定価45,000円より

【目標販売台数】10,000台/年間

【問い合わせ先】

URL: <http://www.optex.co.jp/>

TOA、パワーアンプ270W型の壁掛型非常用放送設備を発売

今回発売したのは、FS10-2710、FS10-2720、FS10-2730、FS10-2710G、FS10-2720G、FS10-2730Gの6機種。

【主な特長】

●緊急地震放送に対応 社団法人電子情報技術産業協会発行「緊急地震速報対応の非常用放送設備に関するガイドライン」に適合し、火災発生時の避難誘導と緊急地震放送が可能

●省電力化 ファンレス設計デジタルアンプの採用で、設置場所での静粛性と通常業務放送時の節電に貢献

●メッセージデータの提供 TOAサイトから設定支援ソフトウェアや拡張音声データのダウンロードが可能。これにより、チャネルごとの情報をパソコン上で編集できる。

●業務用電源ユニット付

FS10-2710G、FS10-2720G、FS10-2730G

【機種名と局数】

FS10-2710	放送局数10局
FS10-2720	放送局数20局
FS10-2730	放送局数30局
FS10-2710G	放送局数10局
FS10-2720G	放送局数20局
FS10-2730G	放送局数30局

【詳細製品情報】

URL: www.toa.co.jp/



業務用電源ユニット付
業務用電源ユニット付
業務用電源ユニット付



映像監視偏重への警鐘

8月に相模原市緑区の障害者施設で発生した痛ましい事件は、セキュリティ産業従事者として、これまでの防犯と安全に関する既成概念を覆された気分だ。映像監視カメラが16台設置されていて、録画とモニタリングができるシステムだが、常に映像監視態勢を取っていなかったからではない。仮に常時映像監視態勢を整えていたとしても、見落としもあるかもしれない。そして、インテリジェント機能を有する映像監視システムで侵入を察知したとしても、対応する時間はなかったかもしれない。つまり、映像監視だけで防犯と安全が確立されることが困難だと明白になった。いわば、映像監視偏重への警鐘だ。

やはり、映像監視だけでなく、敷地内侵入や外周侵入に対する対策、例えばセンサによる検知、時間外入室を規制するアクセスコントロール・システムなどと統合した安全システムの構築を、今一度見直す必要があるだろう。

(東京 設置施工)

なぜ日本ではスマートホームが盛り上がらないのか

北米や欧州を中心として、スマートハウスが既に1つのビジネス分野として成立している。それはIoTをベースにして、エネルギーだけでなく最適な制御を行うことで、様々な要求を満たすといふものだ。一方、日本では家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムのHEMSをはじめ、ビルを対象としたBEMS、工場を対象としたFEMS、そして地域を対象としたCEMSなどが主流で、主にエネルギーの節約を目的としている。これは米国のスマートグリッドに相当するもので、つまり、安全や防犯が範疇に入っていない。

では、エネルギー節約用システムにスマートハウスのコンセプトを加えることができるのだろうか。安全と防犯を簡単に追加することができるのだろうか。それともまったく別の系統で構築すべきなのだろうか。この問題に直面する前に、投資コストの有効性を高めるためにも、基本的な考え方と取り組み方法を議論しておくべきではないか。

(神奈川 システム・コンサルタント)

将来に拡張のできるセキュリティ・システムを具体的に紹介してほしい

セキュリティは時代とともに変化し進化していくものだが、それでは、導入時に将来の拡張性を意識してセキュリティ・システムを導入するにはどのようなことに留意すべきなのだろうか。現状は、導入コストとランニングコストにばかり目を奪われているが、長い目で見れば、システムの入替えを繰り返すことのほうがコストのかかることは明白だろう。そこで、10年程度の期間で利用することを前提にして、拡張性のあるセキュリティ・システムに関する提案型の記事を掲載していただきたい。

(埼玉 システム構築)

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.j

a&S JAPAN 電子版

定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

④ 「送信する」をクリック



⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに
アクセスするURLをお送りします

ASJ社

安心をひとつのシステムに。録画一体型システム

パトロッチ®

発売中

PATROL+WATCH

店舗プランニングオリジナル商品・録画一体型監視カメラ「パトロッチ®」は、街頭防犯対策をはじめ、インフラの構築が難しい、DVRの設置場所がない等の案件でも役立ちます。

- 電源の準備のみでOK! 一体型でかんたん設置&移設
- バッテリー内蔵・不意な停電でも監視が継続可能!
- microSDカードで記録(最大128GB)
録画データはWi-Fiでノートパソコンに取り込み可能
- IP66規格対応:豪雨でも浸水の恐れがない防水規格
- いたずら防止に、カメラハウジング開閉部に特殊ネジ採用

*バッテリー、Wi-Fiはオプションとなります。

詳しい仕様は、弊社ホームページまたは製品パンフレットをご覧ください。
右のQRコードからも製品ページをご覧ください。



新たな視点を屋外監視に。

店舗プランニングの屋外監視システム

2種類のカメラの組み合わせで、昼夜を問わず広域をモニタリング

長距離監視システム 発売予定

LONG RANGE POSITIONING SYSTEM

店舗プランニングが提案する長距離監視システムは、海外において国境・軍事施設警備監視、空港監視、ガス/石油プラント監視などへの採用実績のあるシステムです。

- 車両なら約10km先まで検知。人物なら約4km先まで検知。
- ハイブリッドタイプ:
ビジュアルカメラ+サーマルカメラ(サーマルカメラの代わりにレーザー照明器の搭載も可能)
多様なカメラ・レンズと組み合わせが可能です。
- ハードウェア デフォグ機能内蔵



危機管理産業展2016で
両製品の実機・映像をご覧いただけます!

東京ビッグサイト 西1・2ホール、会議棟
2016年10月19日[水]~21日[金] ブースNo.2A21

20th
ANNIVERSARY

おかげさまで20周年

■ 製品のお問い合わせ・カタログのご請求は

TP TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業本部

東京本社 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階 TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906
関西支店(大阪)/仙台営業所/名古屋営業所/広島営業所/福岡営業所/技術センター(千葉) URL:www.tenpo.co.jp

※「パトロッチ」は株式会社店舗プランニングの登録商標です(登録第5857103号)。